

インタフェース仕様書

共通編

平成 20年 4月

目次

1 インタフェース規定	1
1.1 インタフェース方式概要	1
1.1.1 概要.....	1
1.1.2 データ交換の種類	4
1.2 インタフェース仕様	4
1.2.1 交換情報の仕様.....	4
1.2.2 磁気媒体作成上の留意事項.....	24
1.2.3 伝送使用上の留意事項.....	24
1.3 表記法.....	25
1.3.1 インタフェース一覧の表記について	25
1.3.2 項目説明の表記について	26
1.4 コード一覧.....	31
1.5 留意事項	42
1.5.1 項目設定共通事項	42
1.6 データ種別一覧	43

1 インタフェース規定

本節では、国保連合会と保険者、都道府県、居宅サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護保険施設とのインタフェースの一般的な規定について述べる。

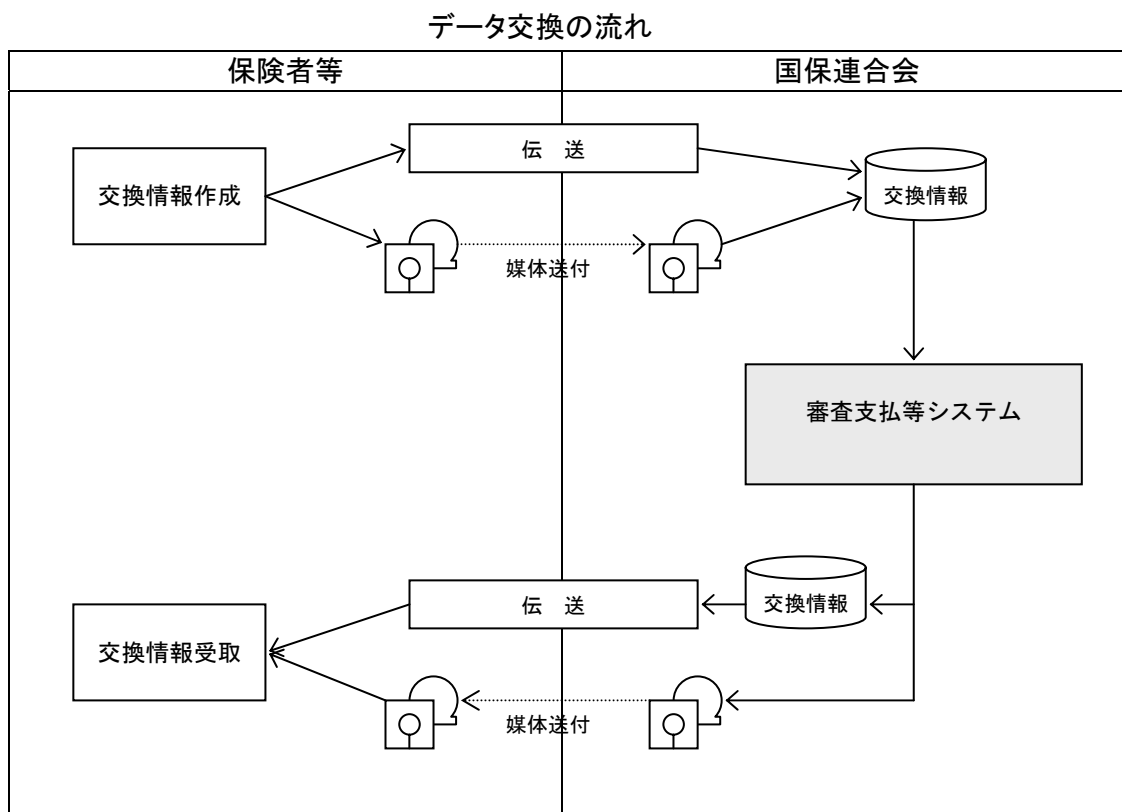
1.1 インタフェース方式概要

1.1.1 概要

保険者、都道府県、居宅サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護保険施設(以降、保険者等と呼ぶ)が作成した交換情報は、伝送または磁気媒体を介して国保連合会に送付される。国保連合会では、受領した交換情報を審査支払等システム内に読み込み、各業務処理を実行する。

また、審査支払等システムが作成した交換情報は、伝送または磁気媒体を介して各保険者等に送付される。

(1) データ交換の流れ



(2) 受付方法

国保連合会での交換情報(磁気媒体)の受付は次の方法にて行われる。

① 交換情報の受理

保険者等より提出される交換情報を格納した磁気媒体及び「送付票」を受理する。

② 送付票と媒体の確認

「送付票」に記載された媒体数と受理した磁気媒体の数を確認する。

③ 送付票への受付印の押印

「送付票」の受付印欄に受付印を押印する。

④ 交換情報のフォーマット変換

審査支払等システムにより交換情報のフォーマット変換を行う。

媒体エラーまたはフォーマットエラーの場合、保険者等へ交換情報の再作成依頼を行う。

(3) 送付方法

国保連合会での交換情報(磁気媒体)の送付は次の方法にて行われる。

① 送付票出力

「送付票」を出力する。

② 帳票枚数確認

「送付票」に記載された各種帳票の総枚数と送付する帳票の総枚数を確認する。

③ 磁気媒体数確認

「送付票」に記載された磁気媒体の総数と送付する磁気媒体の総数を確認する。

④ 発送

各種帳票及び磁気媒体を保険者等別に仕訳し、各々「送付票」に記載された帳票・磁気媒体の数と送付する帳票・磁気媒体の数を確認、決済を受け、各保険者等へ送付する。

(4) エラー処理

保険者等から国保連合会へのデータ交換において、交換情報にエラーが検出される場合として、次のようなものが考えられる。

・媒体エラー

磁気媒体そのものの不良により、交換情報の読みとりに失敗した場合。

・データフォーマットエラー

ファイルフォーマット、レコードフォーマットの不具合により、交換情報のフォーマット変換時にエラーが検出された場合。

・データ内容エラー

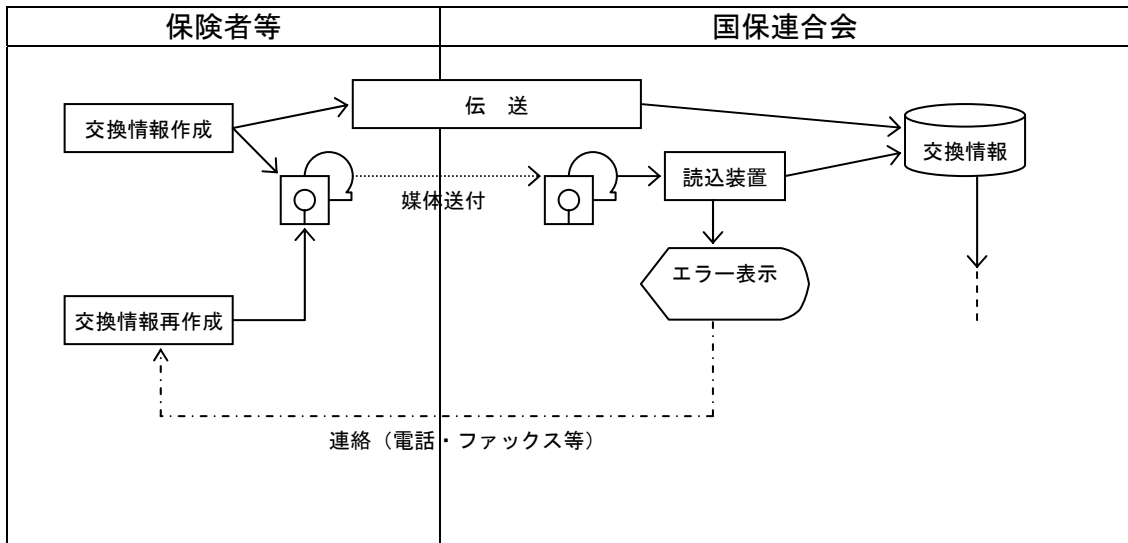
データ内容の不具合により、交換情報のフォーマット変換終了後、業務処理内でエラーが検出された場合。

媒体エラー、データフォーマットエラー及びデータ内容エラーが検出された場合、次のような流れに従いこれを処置する。

① 媒体エラー

媒体エラーによって磁気媒体の読みとりに失敗した場合は、電話・ファックス等によりその旨を送付元に連絡し、交換情報の再作成・再送付を依頼する。この際、必要に応じて送付媒体の返却を行う。

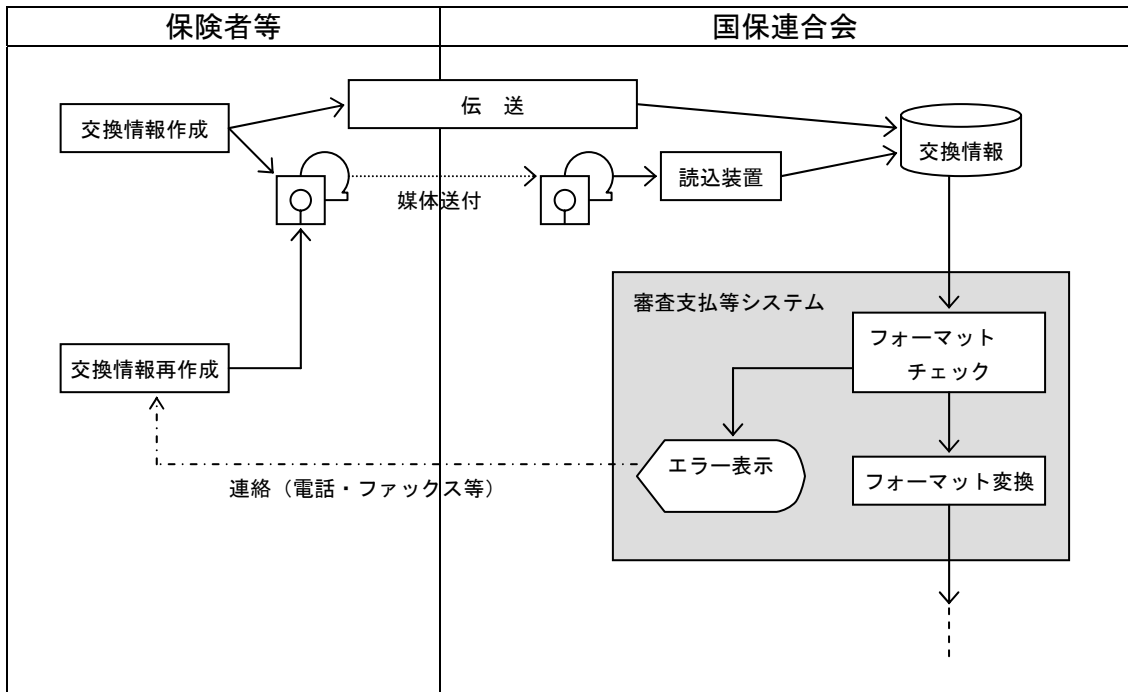
媒体エラー時の処理の流れ



② データフォーマットエラー

データフォーマットチェックによりファイルフォーマット、レコードフォーマットのエラーが検出された場合は、電話・ファックス等によりその旨を送付元に連絡し、交換情報の再作成・再送付を依頼する。この際、必要に応じて送付媒体の返却を行う。

データフォーマットエラー時の処理の流れ



③ データ内容エラー

データ内容の不具合によるエラーが検出された場合は、各業務の要件に従い主に次のような流れで処置を実行する

・審査支払業務

業務の流れの中で、返戻処理として処置を行う場合と、修正画面によるデータ修正を行う場合とがある。

・給付系保険者事務共同処理業務

業務の要件により、交換情報のエラーとして、保険者等に問い合わせを行い、その回答を基に修正画面を使用してエラー修正を行う場合と、業務の流れの中で、返戻の処理として処置を行う場合とがある。

・資格系保険者事務共同処理業務

交換情報のエラーとして、その旨を保険者等に連絡し、エラーリストを返却して交換情報の再作成・再送付を依頼する。

・台帳管理業務

交換情報のエラーとして、保険者等に問い合わせを行い、その回答を基に各交換情報の修正画面を使用してエラー修正を行う。

・共通事項

交換情報が重複して読み込まれた場合は、各業務の流れの中でエラー処理を行い、後発のデータを無効データとして取り扱う。

1. 1. 2 データ交換の種類

保険者等と国保連合会との間で、交換情報の授受を実現するためのデータ交換方式は次の通りである。

- ・伝送によるデータ交換
- ・MT(磁気テープ)によるデータ交換
- ・MO(光磁気ディスク)及びフロッピーディスクによるデータ交換

1. 2 インタフェース仕様

1. 2. 1 交換情報の仕様

(1) 媒体仕様

① 伝送

使用回線サービス	ISDN(デジタル回線)
通信プロトコル	TCP/IP
データ形式	改行付き、MS-DOS テキスト形式
ファイル名	英字で始まる半角英数字8桁以内の任意の文字列に拡張子として".CSV"を付加したもの
文字コード	シフトJISコード

② MT

媒体	MT
媒体フォーマット	JIS X6104 又は JIS X6105 に規定する情報記録方式
データ形式	順編成ファイル形式
レコード形式	固定長レコード形式
ボリューム、ファイル名	英字で始まる半角英数字8桁以内の任意の文字列(ラベルとファイル構成は JIS X0601 に準拠)
文字コード	JISコード

MTのラベルについては「(5)MTラベル形式(P.17)」を参照のこと。

③ MO及びフロッピーディスク

・MO

媒体	230MB、640MB MO
媒体フォーマット	MS-DOSフォーマット
データ形式	改行付き、MS-DOS テキスト形式
ボリューム名	英字で始まる半角英数字8桁以内の任意の文字列
ファイル名	英字で始まる半角英数字8桁以内の任意の文字列に拡張子として”.CSV”を付加したもの
文字コード	シフトJISコード

・フロッピーディスク

媒体	3.5インチFD(1.44MB)
媒体フォーマット	MS-DOSフォーマット
データ形式	改行付き、MS-DOS テキスト形式
ボリューム名	英字で始まる半角英数字8桁以内の任意の文字列
ファイル名	英字で始まる半角英数字8桁以内の任意の文字列に拡張子として”.CSV”を付加したもの
文字コード	シフトJISコード

JISコード、シフトJISコードについては「(6)文字コード(P.21)」を参照のこと。

交換情報のファイル名については、以下の形式とする。

※1 MTのファイル名(ファイル識別名)

・保険者／事業所等から国保連合会へ受け渡す交換情報の場合

JIS X0601 に準拠するファイル名の内、英字で始まる半角英数字8桁以内の任意の文字列とする。

例: J5310004

DATA01

・国保連合会から保険者／事業所等へ受け渡す交換情報の場合

コントロールレコード上のデータ種別(3桁)と、“0000”から始まる数字5桁の通番(注1)から

なる8桁の文字列とする。

例： 53300000（受給者情報更新結果情報の場合）

75100000（介護給付費支払決定額通知書情報の場合）

※2 MO及びフロッピーディスクのファイル名

・保険者／事業所等から国保連合会へ受け渡す交換情報の場合

MS-DOS フォーマットとして許容されるファイル名の内、英字で始まる半角英数字8桁以内の任意の文字列に、拡張子として”.CSV”を付加したものとする。

複数のファイルを1媒体に格納する場合は、各々のファイル名が一意となるように設定する。

例： J5310004.CSV

DATA01.CSV

・国保連合会から保険者／事業所等へ受け渡す交換情報の場合

コントロールレコード上のデータ種別(3桁)と、”00000”から始まる数字5桁の通番(注1)からなる8桁の文字列に、拡張子として”.CSV”を付加したものとする。

例： 53300000.CSV（受給者情報更新結果情報の場合）

75100000.CSV（介護給付費支払決定額通知書情報の場合）

注1：一回の操作にて複数データを出力する場合、”00000”～”99999”の連番が自動的に採番される。

(2) ファイルフォーマット

保険者等との交換情報のファイルは、以下の3種類のレコードから構成される。

・コントロールレコード

ファイルの先頭(第一レコード)に作成し、交換情報の識別、レコード件数、送付元等の制御情報を設定する。

・データレコード

ファイルの第二レコード以降に作成し、交換情報のデータを設定する。

・エンドレコード

ファイルの最終レコードとして作成し、交換情報の終端を表す。

コントロールレコード	}	ファイルの第一レコード
データレコード		
.....	}	ファイルの第二レコード以降のレコード
データレコード		
エンドレコード		
	}	ファイルの最終レコード

交換情報のファイルは、原則として1つのボリューム(媒体)に閉じて、シングルファイルボリュームまたはマルチファイルボリュームとして作成する。

ただし、交換情報の大きさとボリュームの容量との関係から1つのファイルが1ボリュームに格納しきれない場合には、例外的にマルチボリュームファイルとして作成することができる。

シングルファイルボリューム、マルチファイルボリューム及びマルチボリュームファイルについては「(4)磁気媒体のファイル構造(P.13)」を参照のこと。

(3) レコードフォーマット

① 伝送

各レコードはCSV形式で作成する。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	コントロールレコードを示す1を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	ボリューム通番	数字	3	ボリュームに対して付与する番号 ボリュームにまたがらない単独のファイルの場合は0を設定 マルチボリュームファイルの場合は先頭ボリュームからの連番(1から始まる通番)を設定
4	レコード件数	数字	9	データレコードの件数を設定(コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない) マルチボリュームファイルの場合、分割されたそれぞれのファイル内でのデータレコード件数を設定する
5	データ種別	英数	3	「1.6 データ種別一覧」参照(P.43)
6	福祉事務所特定番号	数字	2	送付元または送付先が福祉事務所の場合は12(法別番号)を設定、福祉事務所以外の場合は0を設定する
7	保険者番号	英数	6	送付元または送付先が保険者の場合は保険者番号、福祉事務所の場合は福祉事務所番号を設定、保険者(福祉事務所)以外の場合は0を設定する
8	事業所番号	数字	10	送付元または送付先が事業所の場合は事業所番号を設定、事業所以外の場合は0を設定する
9	都道府県番号	数字	2	送付元または送付先が都道府県の場合は都道府県番号を設定、都道府県以外の場合は0を設定
10	媒体区分	英数	1	1(伝送)を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
1 1	処理対象年月	数字	6	データの処理対象年月を設定する（注1） （例）2000年4月の場合、200004を設定する
1 2	ファイル管理番号	数字	6	マルチボリュームファイルの場合にのみ意味を持つ 作成するファイル単位に一意的な値を設定（分割された 複数のファイルは全て同じ管理番号となる）
1 3	ブランク	英数	2	改行（16進コード`…0x0D0A）を設定

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す2を設定
2	レコード番号（連番）	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる 通番）を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム 全体での通番となる
3	データ			交換情報ごとに、CSV形式でデータを設定 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照
4	ブランク	英数	2	改行（16進コード`…0x0D0A）を設定

・エンドレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	エンドレコードを示す3を設定
2	レコード番号（連番）	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる 通番）を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム 全体での通番となる
3	ブランク	英数	2	改行（16進コード`…0x0D0A）を設定

（データ設定例）

シングルファイルボリュームで、データレコード件数=123、データ種別=999、事業所番号=1111111111、処理対象年月=2000年4月、ファイル管理番号=1の場合のデータ設定例を示す。（事業所からの申請例であるため、都道府県番号は0になる）

・コントロールレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
設定値	1	1	0	1	2	3	9	9	9	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	4	2	0	0	0	0	4				
位置	41	42	43																																						
設定値	1	改行	コード																																						

・データレコード(2レコード目)設定例

位置	1	2	3	4
設定値	2	2	,		...データを設定...																									改行
																														コード

・エンドレコード(125レコード目)設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7
設定値	3	1	2	5	改行	コード	

② M T

各レコードは、項目ごとに固定長で作成する。

また、各レコードは全て同一のレコード長(ファイル中最大のレコードフォーマットを格納できる以上の長さ)とする。(固定長レコード形式)

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	コントロールレコードを示す1を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を前ゼロ詰で設定
3	ボリューム通番	数字	3	媒体の通番を前ゼロ詰で設定
4	レコード件数	数字	9	データレコードの件数を前ゼロ詰で設定(コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない)
5	データ種別	英数	3	「1.6 データ種別一覧」参照(P.43)
6	福祉事務所特定番号	数字	2	送付元または送付先が福祉事務所の場合は12(法別番号)を設定、福祉事務所以外の場合は00を設定する
7	保険者番号	英数	6	送付元または送付先が保険者の場合は保険者番号、福祉事務所の場合は福祉事務所番号を設定、保険者(福祉事務所)以外の場合は000000を設定する
8	事業所番号	数字	10	送付元または送付先が事業所の場合は事業所番号を設定、事業所以外の場合は0000000000を設定
9	都道府県番号	数字	2	送付元または送付先が都道府県の場合は都道府県番号を設定、都道府県以外の場合は00を設定
10	媒体区分	英数	1	3(MT)を設定
11	処理対象年月	数字	6	データの処理対象年月を設定する(注1) (例)2000年4月の場合、200004を設定する
12	ファイル管理番号	数字	6	作成するファイル単位に一意な値を前ゼロ詰で設定

※上記項目の合計長がファイルのレコード長より小さい場合、本レコードの終わりにレコード長に合わせてスペース(16進コード…0x20)を補う。

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す2を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を前ゼロ詰で設定
3	データ			交換情報ごとに、固定長でデータを設定 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照

※上記項目の合計長がファイルのレコード長より小さい場合、本レコードの終わりにレコード長に合わせてスペース(16進コード…0x20)を補う。

・エンドレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	エンドレコードを示す3を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を前ゼロ詰で設定

※本レコードの終わりにレコード長に合わせてスペース(16進コード…0x20)を補う。

(データ設定例)

シングルファイルボリュームで、データレコード件数=123、交換情報識別番号=999、事業所番号=1111111111、処理対象年月=2000年4月、ファイル管理番号=1、レコード長=80バイトの場合のデータ設定例を示す。(事業所からの申請例であるため、都道府県番号は0となる)

・コントロールレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40			
設定値	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80			
設定値	1	1	1	0	0	3	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1																									

・データレコード(2レコード目)設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40					
設定値	2	0	0	0	0	0	0	0	2																																				
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80					
設定値																																													

・エンドレコード(125レコード目)設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40						
設定値	3	0	0	0	0	0	1	2	5																																					
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80						
設定値																																														

③ MO及びフロッピーディスク
各レコードはCSV形式で作成する。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	コントロールレコードを示す1を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	ボリューム通番	数字	3	ボリュームに対して付与する番号 ボリュームにまたがらない単独のファイルの場合は0を設定 マルチボリュームファイルの場合は先頭ボリュームからの連番(1から始まる通番)を設定
4	レコード件数	数字	9	データレコードの件数を設定(コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない) マルチボリュームファイルの場合、分割されたそれぞれのファイル内でのデータレコード件数を設定する
5	データ種別	英数	3	「1.6 データ種別一覧」参照(P.43)
6	福祉事務所特定番号	数字	2	送付元または送付先が福祉事務所の場合は12(法別番号)を設定、福祉事務所以外の場合は0を設定する
7	保険者番号	英数	6	送付元または送付先が保険者の場合は保険者番号、福祉事務所の場合は福祉事務所番号を設定、保険者(福祉事務所)以外の場合は0を設定する
8	事業所番号	数字	10	送付元または送付先が事業所の場合は事業所番号を設定、事業所以外の場合は0を設定
9	都道府県番号	数字	2	送付元または送付先が都道府県の場合は都道府県番号を設定、都道府県以外の場合は0を設定
10	媒体区分	英数	1	2(MO)または4(FD)を設定
11	処理対象年月	数字	6	データの処理対象年月を設定する(注1) (例)2000年4月の場合、200004を設定する
12	ファイル管理番号	数字	6	マルチボリュームファイルの場合にのみ意味を持つ 作成するファイル単位に一意的な値を設定(分割された複数のファイルは全て同じ管理番号となる)
13	blank	英数	2	改行(16進コード…0x0D0A)を設定

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す2を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	データ			交換情報ごとに、CSV形式でデータを設定 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照
4	blank	英数	2	改行(16進コード…0x0D0A)を設定

・エンドレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	エンドレコードを示す3を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	ブランク	英数	2	改行(16進コード`...0x0D0A)を設定

(データ設定例)

フロッピーディスクのシングルファイルボリュームで、データレコード件数=123、交換情報識別番号=999、事業所番号=1111111111、処理対象年月=2000年4月、ファイル管理番号=1の場合のデータ設定例を示す。(事業所からの申請例であるため、都道府県番号は0になる)

・コントロールレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
設定値	1	1	0	1	2	3	9	9	9	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	4	2	0	0	0	0	4				
位置	41	42	43																																					
設定値	1	改行	コード																																					

・データレコード(2レコード目)設定例

位置	1	2	3	4
設定値	2	2			...データを設定...																																改行	コード

・エンドレコード(125レコード目)設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7
設定値	3	1	2	5	改行	コード	

注1:処理対象年月について

以下にコントロールレコードの処理対象年月の設定内容について記載する。

- ① 保険者/事業所等から国保連合会へ受け渡す交換情報の場合
国保連合会での電算処理を実行する年月を設定する。
(審査、過誤調整等については電算処理の実行開始を要望する年月を設定する。)
例: ・2000年4月サービス提供分について5月に審査を実行するための情報を国保連合会に提出する場合は、"200005"を設定する。
・2000年5月異動分の異動連絡票情報を2000年6月に国保連合会に提出する場合は、"200006"を設定する。
- ② 国保連合会から保険者/事業所等へ受け渡す交換情報の場合
国保連合会で電算処理を実行した年月が設定される。
(審査、過誤調整等については請求・支払を確定した年月が設定される。)

例：・2000年4月サービス提供分について5月に審査を実行した結果情報を保険者・事業所に提供する場合は、”200005”が設定される。

・2000年5月異動分の更新結果情報を保険者に提供する場合は、”200006”が設定される。

(4) 磁気媒体のファイル構造

交換情報を格納する磁気媒体は、次の何れかのファイル構造をもつ。

・シングルファイルボリューム

1ボリューム内に1つのファイルだけが格納されているものをいう。

・マルチファイルボリューム

1ボリューム内に複数のファイルが格納されているものをいう。

・マルチボリュームファイル

1つのファイルが複数のボリュームにまたがって格納されているものをいう。

① MTにおけるマルチボリュームファイルについて

MTのラベル形式(JIS X0601 に準拠)に従い、マルチボリュームファイルを構成する。

先頭のボリュームにのみコントロールレコードを格納し、最終のボリュームにのみエンドレコードを格納する。コントロールレコード、データレコード、エンドレコードの設定は、ファイル分割を考慮する必要は無く、論理的な一つのファイルとして作成する。

MTのファイル構造については「(5)MTラベル形式(P.17)」を参照のこと。

② MO及びフロッピーディスクにおけるマルチボリュームファイルについて

上記「(3)レコードフォーマット(P.7)」(コントロールレコード)に示す規定に従い、複数のボリュームに格納されたファイルを論理的に結び付けたマルチボリュームファイルを構成する。コントロールレコードは分割された全てのファイルに各々格納され、ボリューム通番により各ファイルの順序性、連続性を表す。

エンドレコードは分割された最後のファイルにのみ格納され、マルチボリュームファイルの終端を表す。

① シングルファイルボリュームのファイル構造

コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1
	ボリューム通番 : 0
	レコード番号 : 1
データレコード	レコード番号 : 2
データレコード	レコード番号 : 3
データレコード .	.
データレコード	レコード番号 : 99
エンドレコード	レコード番号 : 100

ファイル

シングルファイルボリューム

② マルチファイルボリュームのファイル構造

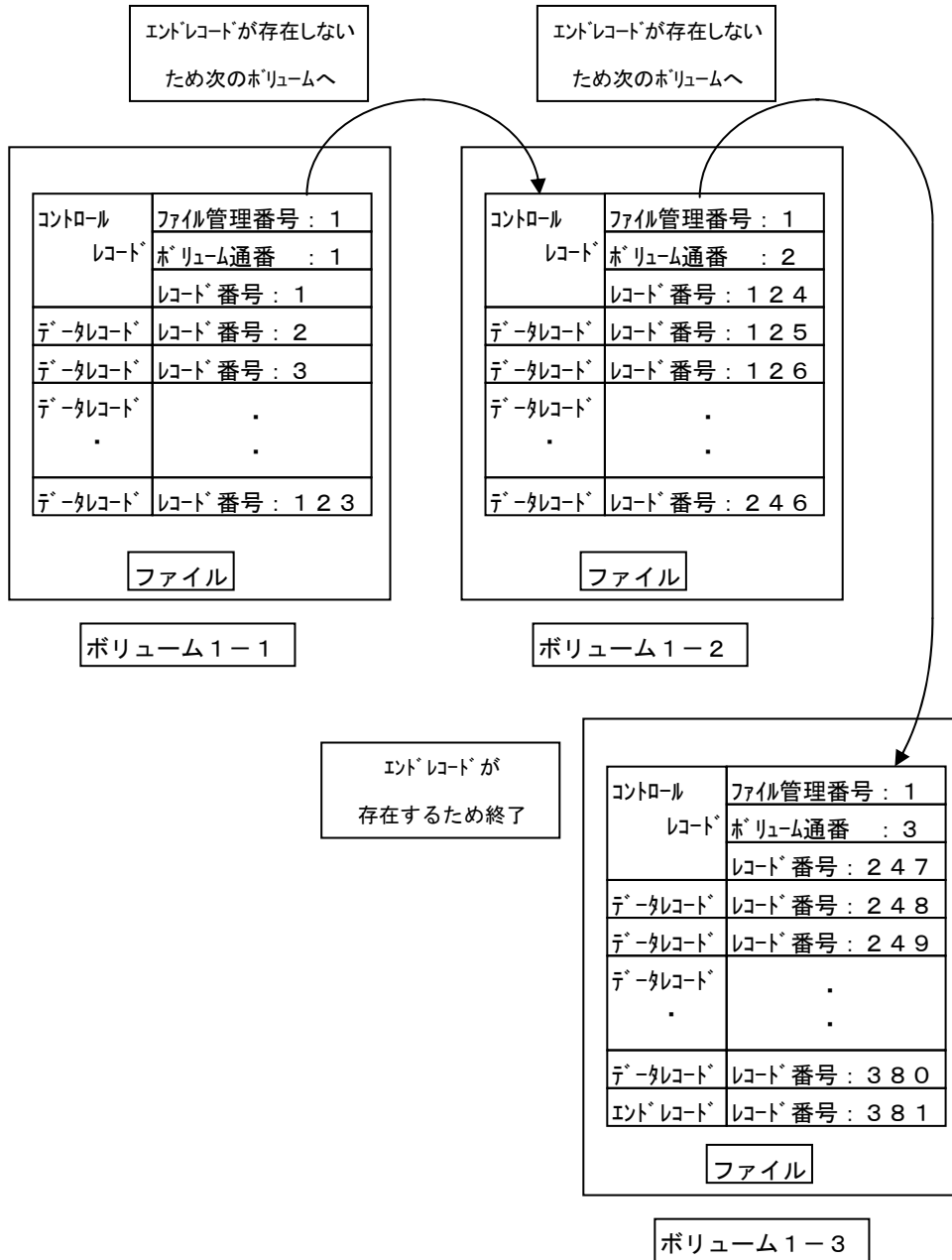
コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1	コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1	コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1
	ボリューム通番 : 0		ボリューム通番 : 0		ボリューム通番 : 0
	レコード番号 : 1		レコード番号 : 1		レコード番号 : 1
データレコード	レコード番号 : 2	データレコード	レコード番号 : 2	データレコード	レコード番号 : 2
データレコード	レコード番号 : 3	データレコード	レコード番号 : 3	データレコード	レコード番号 : 3
データレコード .	.	データレコード .	.	データレコード .	.
データレコード	レコード番号 : 38	データレコード	レコード番号 : 81	データレコード	レコード番号 : 73
エンドレコード	レコード番号 : 39	エンドレコード	レコード番号 : 82	エンドレコード	レコード番号 : 74

ファイル ファイル ファイル

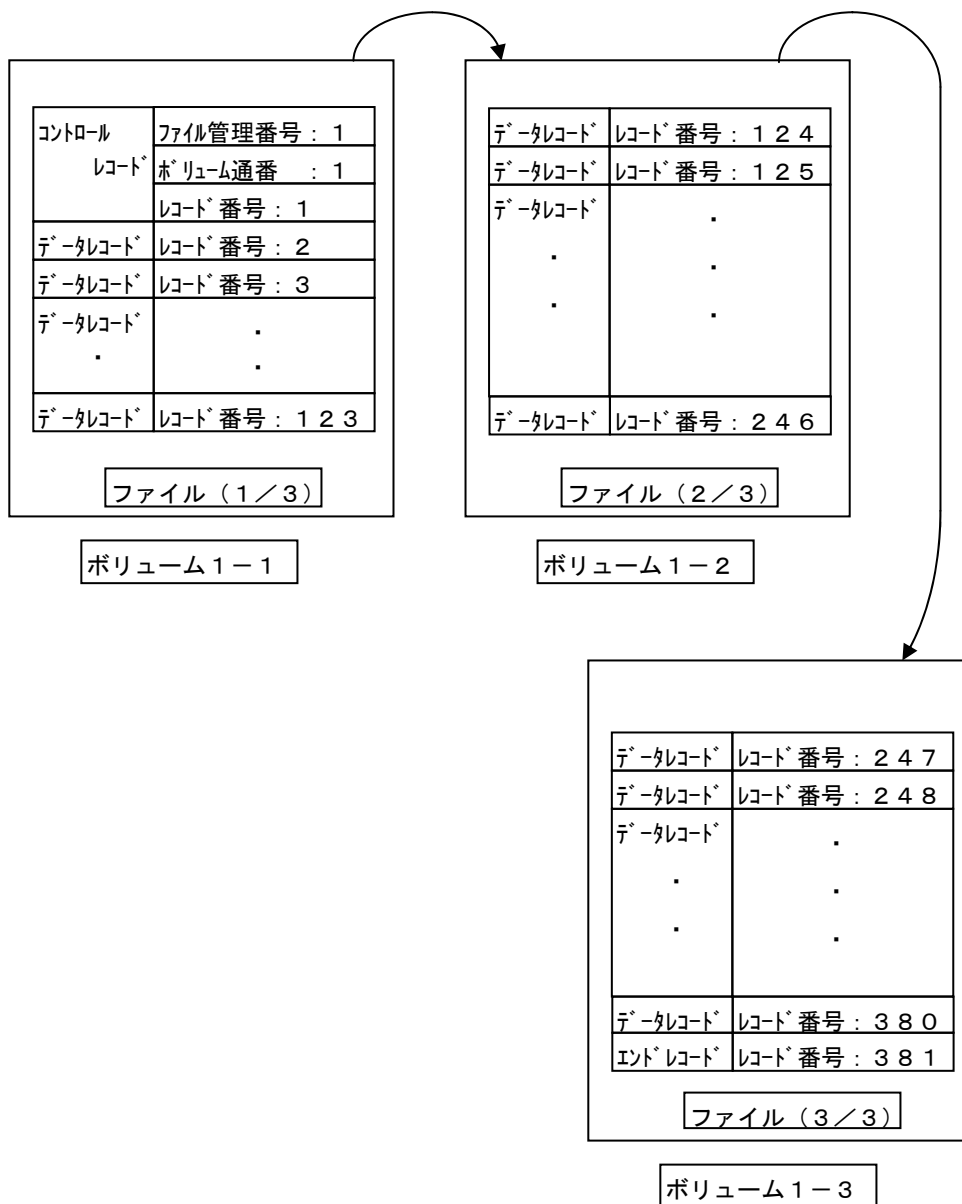
マルチファイルボリューム

③ マルチボリュームファイルのファイル構造

・フロッピーディスク及びMOの場合



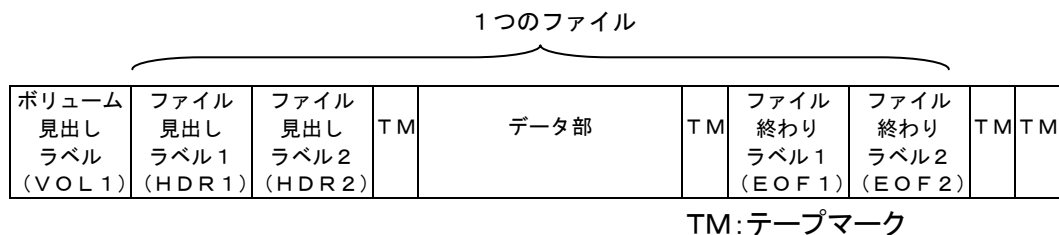
・MTの場合



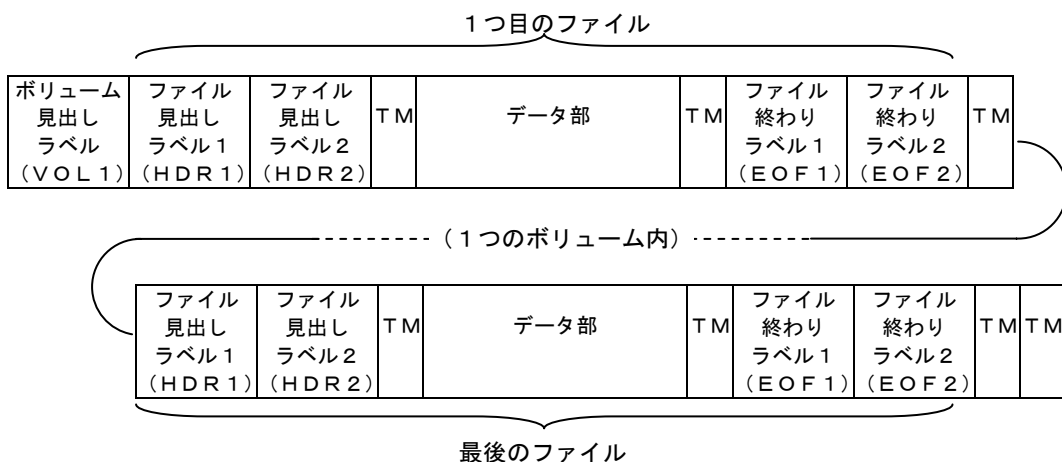
(5) MTラベル形式

交換情報を格納するMTは以下のラベル形式(JIS X0601に準拠)をもつ。

① シングルファイルボリュームのラベル形式



② マルチファイルボリュームのラベル形式



③ マルチボリュームファイルのラベル形式



※最後のボリュームのみラベル形式が異なる。

・ボリューム見出しラベル(VOL1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“VOL1”を設定
2	ボリューム識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
3	ボリュームアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
4	予備	英数	13	スペースを設定
5	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
6	所有者識別名	英数	14	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	予備	英数	28	スペースを設定
8	ラベル規格番号	英数	1	“3”を設定

・ファイル見出しラベル1(HDR1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“HDR1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	数字	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	数字	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代: “_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代: “0yyddd” (0:半角ゼロ) yy:西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd:年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例)2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	英数	6	000000を設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ファイル見出しラベル2(HDR2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“HDR2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ／ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	ブロック化の有無を設定 スペース：ブロッキングしていない “B”：ブロッキングしている
12	予備	英数	41	スペースを設定

・ファイル終わりラベル1(EOF1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOF1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	英数	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy : 西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd : 年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例) 2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	数字	6	ファイルに格納されているブロック数を000001～999999で設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ファイル終わりラベル2(EOF2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOF2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3 : 1600 b p i 4 : 6250 b p i
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ／ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	ブロック化の有無を設定 スペース：ブロッキングしていない “B”：ブロッキングしている
12	予備	英数	41	スペースを設定

・ボリューム終わりラベル1 (EOV1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOV1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	英数	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy : 西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd : 年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例) 2000年4月1日の場合、00092を設定する
9	満了日付 (有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース (制限無し) を設定
11	ブロック数	数字	6	ファイルに格納されているブロック数を000001～999999で設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ボリューム終わりラベル2 (EOV2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOV2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F” (固定長レコード形式) を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3 : 1600 b p i 4 : 6250 b p i
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ／ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	スペースを設定
12	予備	英数	41	スペースを設定

(6) 文字コード

① JISコード

次の文字コード規格に準拠する。

JIS X0201

JIS X0202

JIS X0208-1997

JIS X0212-1990

ただし、本システムでは以下の範囲で使用することを原則とする。

このため、「補助漢字」等、対応していない文字を使用する場合には、別途変換等の処置が必要となる。

・文字コード範囲

項番	項目	内容	JIS規格
1	1バイト文字	1バイト文字はJIS8単位符号を使用し、使用可能文字は下表「JIS8単位符号」の通りである。なお、表中の空欄の箇所は使用不可とする。	JIS X0201-1997
2	2バイト文字	2バイト文字はJISコード(JIS第一水準、JIS第二水準)を使用し、使用可能文字は下表「JISコード使用可能文字」の通りである。	JIS X0208:1997

・ J I S 8 単位符号

2 ⁷ -2 ⁴ 2 ³ -2 ⁰	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P						ー (長音)	タ	ミ		
1				1	A	Q						ア	チ	ム		
2				2	B	R						イ	ツ	メ		
3			#	3	C	S						ウ	テ	モ		
4			\$	4	D	T						エ	ト	ヤ		
5				5	E	U						オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V					ヲ	カ	ニ	ヨ		
7				7	G	W						キ	ヌ	ラ		
8			(8	H	X						ク	ネ	リ		
9)	9	I	Y						ケ	ノ	ル		
A			*		J	Z						コ	ハ	レ		
B			+		K							サ	ヒ	ロ		
C			,		L	¥						シ	フ	ワ		
D			-	=	M							ス	ヘ	ソ		
E					N							セ	ホ	・ (濁点)		
F			/		O							ソ	マ	・ 半濁点		

② シフト J I S コード

シフトJISコードは、日本工業規格(JIS X0208:1997 附属書1)で規定されているが、本システムでは Windows標準で使用されているコード体系(JIS X0208 の漢字文字集合を未使用領域にシフトさせたコード体系)で通常に使用できる文字を使用する。

ただし、本システムでは以下の文字を使用不可とする。

・使用不可能文字

項番	使用不可能文字	文字コード(16進表記)
1	'(シングルコーテーション)	27

③ 外字

交換情報の被保険者等名及び住所の項目に外字が含まれる場合は、外字部分の文字コードをシフトJISの外字コードに変換して格納する。

ただし、審査支払等システムでは全ての外字を取り扱い対象外とするため、当該データが印字対象となる場合はこれをスペースに置き換えて印字し、「外字空白印字リスト」によりこの処置を通知する。

したがって、審査支払等システムで外字を印字する場合は、保険者等と国保連合会との間で外字コードの取り扱いについての調整が必要となる。

※外字コード

シフトJISコード上での外字コード領域には、16進コード`…0xF040～0xF9FCの範囲で2バイト目が16進コード`…0x40～0x7E及び0x80～0xFCの1880文字が割り当てられている。

(7) 特記事項

① CSV形式ファイル

- ・各レコードは可変長レコードとし、レコードの終わりには「改行コード(16進`…0x0D0A)」を設定する。
- ・各項目間には区切り(セパレータ)として「カンマ(16進コード`…0x2C)」を設定する。
- ・英数属性、数字属性および漢字属性の項目はデータの両側を「ダブルコーテーション(16進コード`…0x22)」で囲む。ただし、各項目の内容に「カンマ」、「ダブルコーテーション」、「スペース(16進コード`…0x20)」および漢字(2バイトコード)を含まない場合は、データの両側の「ダブルコーテーション」を省略することができる。
- ・英数属性の項目の内容に「ダブルコーテーション」を含む場合は、2つの「ダブルコーテーション」を連続して設定する。(1文字の「ダブルコーテーション」として扱われる。)
- ・数字属性の項目の内容がゼロの場合は、「ゼロ(16進コード`…0x30)」を設定する。
- ・各レコードには「改行コード」および漢字(2バイトコード)を除き、16進コード`…0x00～0x1Fの文字を使用しない。
- ・項目の入力を省略する場合は、データを省略して「カンマ」を連続させる。
- ・全ての桁に意味のある項目の場合は、内容に含まれるスペース、ゼロ等を省略しない。

② 固定長形式ファイル

- ・各レコードは固定長レコードとし、ファイル中最大のレコードフォーマットの長さに合わせてレコードの終わりにスペースを設定する。
- ・各項目間には区切り等をつけず、「バイト数」で示された固定長毎に項目値を設定する。
- ・数字属性の項目には符号付きアンパック(ゾーン)10進数形式で項目値を設定する。
- ・漢字属性の項目には漢字シフトコードを付加しない。
- ・項目の入力を省略する場合は、英数属性の項目はスペース、数字属性の項目はゼロ、漢字属性の項目は漢字スペースをそれぞれ項目の長さに応じて設定する。

1. 2. 2 磁気媒体作成上の留意事項

(1) 全般

- ・磁気媒体上のファイル名については、審査支払等システムではチェックの対象外。ただし、原則として同一月の交換情報としては同一ファイル名は使用せず、送付元で識別できる名称とする。
- ・保険者と事業者、異なる保険者及び異なる事業所からの情報を1枚(1巻)の媒体に混在させてはならない。
(例) 保険者が居宅サービス事業所として請求明細等を提出する場合も別媒体にして提出する。
- ・事業所が他の事業所の媒体作成(送信)を代行する場合は、事業所毎に媒体を作成する。
- ・同一保険者または同一事業所から異なる様式の情報を同時期に提出する場合は、1枚(1巻)の磁気媒体に混在させることも可能とする。

(2) MT

- ・媒体の送付時は、送付票と併せて媒体内に格納されているファイルの一覧を添付する。
- ・オープンリールMT(JIS X6104、JIS X6105)は日本工業規格で幅 12.7mm、9トラック仕様の標準テープを使用する。
- ・JIS X0601 は日本工業規格で一般的に用いられている構成。
- ・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う。
- ・EXCELファイル形式のデータ交換には使用できない。

(3) MO及びフロッピーディスク

- ・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う。

1. 2. 3 伝送使用上の留意事項

(1) エラー時の対応

- ・伝送したファイルの読み込みエラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送信を行う。

(2) セキュリティ

- ・国保連合会と接続した機器及びLAN環境を同時に他のネットワークに接続しない。(ネットワーク同士の相互乗り入れを前提としたLAN間接続は行わない。)
- ・国保連合会との接続は、登録した電話番号から行い、各々のサービス事業所等に交付された事業所IDとパスワードによる認証を使用する。
- ・事業所IDは、請求及び受領に関する事業所届出時に請求方法が伝送の場合、国保連合会より払い出される。
- ・パスワードは、事業所IDの払い出し時に国保連合会側で設定されるが、最初の接続時にサービス事業所側の責任で任意な値に変更するものとする。パスワードの定期的変更はサービス事業所の責務とする。
- ・パスワードを忘失した場合は、迅速に国保連合会に届け出、再発行等の処置を受ける。

1. 3 表記法

1. 3. 1 インタフェース一覧の表記について

(1) インタフェース一覧の内容

交換情報の一覧を表す。

① 項番

・業務毎の「項目説明」における各交換情報への対応を表す。

② 識別

・交換情報識別番号を表す。

③ 情報名

・交換情報の情報名を表す。

④ 内容

・交換情報の内容を表す。

⑤ ルート

・交換情報の送付元および送付先を表す。

⑥ 周期

・情報交換の周期(月次、日次等の区別)または送付時期を表す。

⑦ 媒体

・交換情報の送付媒体を表す。

⑧ 出力形式

・国保連合会が送付する交換情報の出力形式を表す。

CSV : 伝送または磁気媒体にCSV形式(MTの場合は固定長形式)で出力可能な場合は“○”で表す。

EXCEL : 伝送または磁気媒体にEXCELファイル(Excel97)形式で出力可能な場合は“○”で表す。

帳票形式 : 帳票(紙媒体)として出力可能な場合は“○”で表し、出力される用紙の種別(汎用紙/専用紙)とサイズ等を付記する。

1. 3. 2 項目説明の表記について

(1) 項目説明の内容

交換情報のデータレコードに「データ」として設定する項目の内容を表す。

① 項番

・項目の連番。

CSV形式で交換情報を作成する場合は、この単位でデータの区切り(カンマ)を設定することを表す。

② 項目名

・項目名を表す。

③ 属性

・特に記載が無い限り、以下の形式でデータを設定することを表す。

英数 : 半角の英字、数字、カナ文字1文字をそれぞれ1バイトで表す。半角の英小文字は使用できない。

固定長形式で設定する場合は、左詰で残りはスペースで埋める。

数字 : 0, 1, 2, ~, 9の数字1桁をそれぞれ1バイトで表す。マイナスの数値の場合は左側に半角のマイナス(“-“)を付加する。

固定長形式で設定する場合は、符号付きアンパック(ゾーン)10進数形式とし、右詰で左側はゼロで埋める。

※1 属性として数字となっているものは、

0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の数字1桁をそれぞれ1バイトで表す。

※2 マイナス数値については、CSV形式の場合は左側に半角の(“-“)を付加する。

ただし、この場合の“-“を含む設定値の桁数は、各交換情報の項目説明に示す項目長を超えてはならない。

例: マイナス10は「-10」で表現する。

※3 プラス数値およびゼロ値については、CSV形式の場合は左側には何も付けない。

例: プラス10は「10」で表現する。

※4 マイナス数値の固定長形式については、符号付きアンパック(ゾーン)10進数形式で表現する。

アンパック(ゾーン)10進数形式については、(3)を参照

※5 プラス数値およびゼロ値の固定長形式については、CSV形式同様、符号なしの形式とするが、値が決定後に形式を確定することは困難であるため、マイナス値を取り得るものについては、符号付きアンパック(ゾーン)10進数形式とし、マイナス値を取り得ないものについては、符号なしアンパック(ゾーン)10進数形式とする。

上記 ※2~※5をまとめると下記の表になる。

数値の値	CSV形式	固定長形式	
マイナス	左側に半角(-)をつける	符号付きアンパック(ゾーン)10進数形式	
プラス ゼロ	半角(-)はつけない	マイナス値を取り得る項目	符号付きアンパック(ゾーン)10進数形式
		マイナス値を取り得ない項目	符号なしアンパック(ゾーン)10進数形式

※6 数字属性の項目にゼロが設定されているとき、特に断りがない場合は、マイナス値を取り得る項目については数値ゼロが入力されているものと見なし、マイナス値をとり得ない項目については値の入力が省略されているものと見なす。

例:

項目名	入力値
単位数 (点数)	0(数値ゼロ)
日数	0(数値ゼロ)
金額	0(数値ゼロ)
年月日	省略
区分	省略
番号	省略

また、CSV形式の場合、設定値の全桁が”0”であるときは、その設定長に関わらず上記入力値の判定に従う。

例: 項目長=6バイトの「金額」項目については、以下の設定値は全て数値ゼロが設定されているものと見なす。

“0”、“000”、“000000”

項目長=6バイトの「年月」項目については、以下の設定値は全て入力が省略されているものと見なす。

“0”、“000”、“000000”

漢字 : 漢字1文字をそれぞれ2バイトで表す。

固定長形式で設定する場合は、漢字シフトコードを付加しない左詰とし、残りは漢字スペースで埋める。

- ・「英数」項目には漢字(2バイトコード)を混在させない。
- ・「漢字」項目には半角の英字、数字、カナ文字(1バイトコード)を混在させない。

④ バイト数

- ・設定するデータの長さをバイト数で表す。CSV形式の場合は項目の最大長、固定長形式の場合は項目長(固定長)を表す。

⑤ 内容

- ・設定する項目の内容を表す。

⑥ 必須入力

- ・入力が必要の項目を“○”で表す。
- ・特定の条件により入力が必要となる場合は、条件のマトリックスまたは注記として表末に記述する。

⑦ 備考

- ・設定するデータの形式、コード一覧の参照先等の特記事項を表す。

データレコードは、「項目説明」で表されるデータの先頭に「レコード種別」(="2")および「レコード番号(連番)」、データの最後に改行(CSV形式の場合)またはスペース(固定長形式の場合)を付加して作成する。(詳細は「1. 2. 1 (3) レコードフォーマット(P.7)」参照)

(2) データ設定例

以下の交換情報のデータレコードにデータを設定する例を示す。

項番	項目名	属性	バイト数	必須入力	備考	設定値例
1	A(文字列)	英数	5	○		ABCD
2	B(数値)	数字	6	○		1542
3	C(漢字文字列)	漢字	8	○		介護
4	D(年月日)	数字	8	○		2000年4月1日
5	E(中間にスペースを含む文字列)	英数	4	○		XY Z
6	F(ゼロ)	数字	6			0
7	G(スペースのみ)	英数	6			
8	H(先頭にスペースを含む文字列)	英数	5			KLM
9	I(数値…金額等)	数字	6			987,654円

(レコード番号(連番)=123とする。)

① CSV形式の場合

以下のデータを設定する。(設定例1、設定例2の何れも同じ結果となる。)

・設定例1

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
設定値	2	,	1	2	3	,	A	B	C	D	,	1	5	4	2	,	"	介	護								"	,	2	0	0	0	4	0	1	,	"	X	Y	
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61																			
設定値	Z	"	,	0	,	,	"	K	L	M	"	,	9	8	7	6	5	4	改行																					

・設定例2

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
設定値	2	,	0	0	0	0	0	1	2	3	,	A	B	C	D		,	0	0	1	5	4	2	,	"	介	護					"	,	2	0	0	0			
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71									
設定値	0	4	0	1	,	"	X	Y	Z	"	,	0	,	,	"	K	L	M	"	,	9	8	7	6	5	4	改行													

② 固定長形式の場合

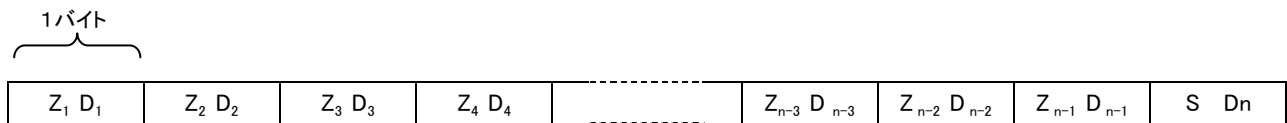
以下のデータを設定する。(レコード長=80バイトとする。)

・設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
設定値	2	0	0	0	0	0	0	1	2	3	A	B	C	D		0	0	1	5	4	2	介	護							2	0	0	0	0	4	0	1	X	Y		
位置	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	
設定値	Z	0	0	0	0	0										K	L	M																							

(3) アンパック(ゾーン) 10進数形式について

アンパック(ゾーン)10進数形式は、符号を含む10進数の並びとして表現される。10進数1桁が1バイトで表される。個々のバイトは、最右端のバイトを除いて4ビットの数字部分と4ビットのゾーン部分とからなる。最右端のバイトは、数字と符号の重ね合わせが行われる。アンパック(ゾーン)10進数形式を下記に図示する。



Zはゾーンを示し、Dは数字を示し、Sは符号を示す。nは1からの連番である。

Z : Zの値は3₁₆である。

D : D₁~D_{n-1}の値は0₁₆~9₁₆である。

D_n : 符号なし数字項目の場合は数字0₁₆~9₁₆を表し、符号つき数字項目の場合は正負と最下位桁の値によって変化する。

S : Sの値は、符号なし数字項目の場合は数字3₁₆であり、符号つき数字項目の場合は正負と最下位の桁の値によって変化する。符号つき数字項目の場合の符号の重ね合わせを次に示す。

最下位桁の値	符号					
	符号なし		正符号つき		負符号つき	
	S	D _n	S	D _n	S	D _n
0	3	0	7	B	7	D
1	3	1	4	1	4	A
2	3	2	4	2	4	B
3	3	3	4	3	4	C
4	3	4	4	4	4	D
5	3	5	4	5	4	E
6	3	6	4	6	4	F
7	3	7	4	7	5	0
8	3	8	4	8	5	1
9	3	9	4	9	5	2

上記の「正符号つき」および「負符号つき」を『符号つきアンパック(ゾーン)10進数形式』とする。

(例)5桁の数字の場合

・符号なし:12345(10進表記)

3	1	3	2	3	3	3	4	3	5
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

 16進表記

・符号つき(正):+12345(10進表記)

3	1	3	2	3	3	3	4	4	5
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

 16進表記

・符号つき(負):-12345(10進表記)

3	1	3	2	3	3	3	4	4	E
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

 16進表記

1. 4 コード一覧

項番	コード名称	属性	バイト数	内容						
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報を識別するための番号						
2	異動区分コード	数字	1	1:新規 2:変更 3:終了						
3	異動事由	受給者異動事由	数字	2	01:受給資格取得 02:受給資格喪失 03:広域連合における受給者の市町村間異動（政令市における受給者の区間異動） 04:合併による新規 99:その他異動					
		事業所異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）					
		保険者異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）					
		広域連合異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）					
		市町村固有情報異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）					
		市町村特別給付異動事由	数字	2	01:固定値（省略可能）					
4	訂正区分コード	数字	1	1:（未使用） 2:修正 3:削除						
5	媒体区分コード	数字	1	1:伝送 2:MO 3:MT 4:FD (5:紙)						
6	保険者番号	数字	6	<p>介護保険の保険者番号</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>×1</td> <td>×2</td> <td>×3</td> <td>×4</td> <td>×5</td> <td>×6</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"> ↑ ↑ ↑ 都道府県コード チェックデジット 市区町村コード ※チェックデジットはモジュラス10方式とする </p>	×1	×2	×3	×4	×5	×6
×1	×2	×3	×4	×5	×6					
7	証記載保険者番号	数字	6	被保険者証記載の保険者番号 広域連合（政令市）の場合は市町村コード（行政区番号）						
8	市町村コード	数字	3	総務省にて定めるコード						
9	年号コード	数字	1	1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成						
10	保険者区分コード	数字	1	1:単独保険者 2:政令市 3:広域連合の保険者						
11	被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号 被保険者証記載の被保険者番号が10桁に満たない場合は右詰とし、左側を0で埋める 福祉事務所から提供される生活保護受給者については先頭の1桁を“H”とすること						
12	性別コード	数字	1	1:男 2:女						
13	みなし要介護区分コード	数字	1	1:通常の認定 2:みなし認定（旧措置入所者） 3:やむを得ない事由						
14	要介護状態区分コード	数字	2	01:非該当 11:要支援（経過的要介護） 12:要支援1 13:要支援2 21:要介護1 22:要介護2 23:要介護3 24:要介護4 25:要介護5						

項番	コード名称	属性	バイト数	内容																				
15	居宅サービス計画作成区分コード	数字	1	居宅介護支援事業所作成、自己作成、又は、介護予防支援事業作成の区分 1:居宅介護支援事業所作成 2:自己作成 3:介護予防支援事業所作成																				
16	減免申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み																				
17	申請種別コード	数字	1	1:新規申請 2:更新申請 3:変更申請 4:職権																				
18	変更申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み																				
19	標準負担区分コード	数字	1	1:標準負担 2:特定標準負担																				
20	利用者負担区分コード	数字	1	1:利用者負担 2:旧措置入所者利用者負担																				
21	世帯所得区分コード	数字	1	世帯の所得区分コード 1:低所得者等以外 2:市町村民税世帯非課税者等 3:生活保護																				
22	所得区分コード	数字	1	個人の所得区分コード 1:低所得者等以外 2:市町村民税非課税者等 3:生活保護																				
23	老齢福祉年金受給の有無	数字	1	1:受給無し 2:受給有り																				
24	事業所番号	数字	10	介護居宅介護支援事業所、指定サービス事業所、基準該当サービス事業所の事業所番号 <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <tr> <td>×</td><td>1</td><td>×</td><td>2</td><td>×</td><td>3</td><td>×</td><td>4</td><td>×</td><td>5</td><td>×</td><td>6</td><td>×</td><td>7</td><td>×</td><td>8</td><td>×</td><td>9</td><td>×</td><td>10</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">↑ 都道府県コード</div> <div style="text-align: center;">↑ 郡市区コード</div> <div style="text-align: center;">↑ 通番</div> <div style="text-align: center;">↑ チェックデジット</div> </div> 事業所区分コード ※チェックデジットはモジュラス10方式とする	×	1	×	2	×	3	×	4	×	5	×	6	×	7	×	8	×	9	×	10
×	1	×	2	×	3	×	4	×	5	×	6	×	7	×	8	×	9	×	10					
25	受領委任の有無	数字	1	1: 受領委任契約無し 2: 受領委任契約有り																				
26	指定／基準該当等事業所区分コード	数字	1	1:指定事業所 2:基準該当事業所 3:相当サービス事業所（地域密着型事業所も含む） 4:その他 5:地域密着型事業所 6:混在型事業所Ⅰ 7:混在型事業所Ⅱ																				
27	法人等種別コード	数字	2	01:社会福祉法人（社協以外） 02:社会福祉法人（社協） 03:医療法人 04:民法法人（社団・財団） 05:営利法人 06:非営利法人（NPO） 07:農協 08:生協 09:その他法人 10:地方公共団体（都道府県） 11:地方公共団体（市町村） 12:地方公共団体（広域連合・一部事務組合等） 13:非法人 99:その他																				
28	居宅サービス区分コード	数字	1	1:訪問通所 2:短期入所																				

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
29	サービス種類コード	数字	2	11:訪問介護 12:訪問入浴介護 13:訪問看護 14:訪問リハビリテーション 15:通所介護 16:通所リハビリテーション 17:福祉用具貸与 21:短期入所生活介護 22:短期入所療養介護（介護老人保健施設） 23:短期入所療養介護（介護療養型医療施設等） 24:介護予防短期入所生活介護 25:介護予防短期入所療養介護（介護老人保健施設） 26:介護予防短期入所療養介護（介護療養型医療施設等） 31:居宅療養管理指導 32:認知症対応型共同生活介護 33:特定施設入居者生活介護 34:介護予防居宅療養管理指導 35:介護予防特定施設入居者生活介護 36:地域密着型特定施設入居者生活介護 37:介護予防認知症対応型共同生活介護 38:認知症対応型共同生活介護（短期利用型） 39:介護予防認知症対応型共同生活介護（短期利用型） 41:特定福祉用具販売 42:住宅改修 43:居宅介護支援 44:特定介護予防福祉用具販売 45:介護予防住宅改修 46:介護予防支援 51:介護老人福祉施設サービス 52:介護老人保健施設サービス 53:介護療養型医療施設サービス 54:地域密着型介護老人福祉施設 59:特定入所者介護サービス等 61:介護予防訪問介護 62:介護予防訪問入浴介護 63:介護予防訪問看護 64:介護予防訪問リハビリテーション 65:介護予防通所介護 66:介護予防通所リハビリテーション 67:介護予防福祉用具貸与 71:夜間対応型訪問介護 72:認知症対応型通所介護 73:小規模多機能型居宅介護 74:介護予防認知症対応型通所介護 75:介護予防小規模多機能型居宅介護 81～:その他（市町村特別給付等）
30	サービスコード	数字	6	<p>* サービス項目コードはサービスの内容・行為を表す</p>

項番	コード名称	属性	バイト数	内容					
31	福祉用具貸与種目コード	数字	2	01:車いす 02:車いす付属品 03:特殊寝台 04:特殊寝台付属品 05:床ずれ防止用具 06:体位変換器 07:手すり 08:スロープ 09:歩行器 10:歩行補助つえ 11:認知症老人徘徊感知機器 12:移動用リフト					
32	公費負担者番号	数字	8						
33	公費受給者番号	数字	7						
34	老人保健市町村番号	数字	8						
35	老人保健受給者番号	数字	7						
36	金融機関コード	数字	4	全銀協が定めたコード体系					
37	金融機関支店コード	数字	3	全銀協が定めたコード体系					
38	口座種目	数字	1	1:普通預金 2:当座預金 3:別段 9:その他					
39	口座番号	数字	7	全銀協が定めたコード体系					
40	福祉用具販売費の種目コード	数字	2	01:腰掛便座 02:特殊尿器 03:入浴補助用具 04:簡易浴槽 05:移動用リフトのつり具の部分					
41	施設等の区分コード	英数	1	サービス種類	内容				
					平成15年3月以前	平成15年4月以降	平成17年10月以降	平成18年4月以降	平成18年7月以降
				訪問介護※1	1:身体介護 2:生活援助 3:通院等乗降介助				
				訪問看護	1:訪問看護ステーション 2:病院または診療所				
				訪問リハビリテーション※1	1:病院または診療所 2:介護老人保健施設				
				通所介護	1:単独型 2:併設型			3:小規模型事業所 4:通常規模型事業所 5:療養通所介護事業所	
通所リハビリテーション	1:通常の医療機関 2:小規模診療所 3:介護老人保健施設								

項番	コード名称	属性	バイト数	内容			
				短期入所生活介護	平成15年3月以前	平成15年4月以降	
					1:単独型 2:併設型・空床型	1:単独型 2:併設型・空床型 3:単独型小規模生活単位型※1 4:併設型・空床型小規模生活単位型※1	
					平成17年10月以降		
					1:単独型 2:併設型・空床型 3:単独型ユニット型※1 4:併設型・空床型ユニット型※1		
					短期入所療養介護(老健)	平成17年10月以前	平成17年10月以降
						1:介護老人保健施設	1:介護老人保健施設 2:ユニット型介護老人保健施設※6
				平成20年5月以降			
				1:介護老人保健施設(I) 2:ユニット型介護老人保健施設(I) 5:介護老人保健施設(II) 6:ユニット型介護老人保健施設(II) 7:介護老人保健施設(III) 8:ユニット型介護老人保健施設(III)			
				短期入所療養介護(診療所等)		平成15年3月以前	平成15年4月以降
						1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 5:介護力強化型※2	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型
					平成17年10月以降	平成18年7月以降	
					1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 6:ユニット型病院療養型※6 7:ユニット型診療所療養型※6 8:ユニット型認知症疾患型※6	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 6:ユニット型病院療養型※6 7:ユニット型診療所療養型※6 8:ユニット型認知症疾患型※6 A:病院経過型 B:認知症経過型	
					平成20年5月以降		
					1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 6:ユニット型病院療養型※6 7:ユニット型診療所療養型※6 8:ユニット型認知症疾患型※6 A:病院経過型 B:認知症経過型 C:ユニット型病院経過型		

加除第7号

項番	コード名称	属性	バイト数	内容		
				特定施設 入居者生 活介護	平成 18 年 3 月以前	平成 18 年 4 月以降
					1:有料老人ホーム 2:軽費老人ホーム	1:有料老人ホーム 2:軽費老人ホーム 3:養護老人ホーム 4:高齢者専用賃貸住宅
				介護老人 福祉施設	平成 15 年 3 月以前	平成 15 年 4 月以降
					1:介護福祉施設 2:小規模介護福祉施設	1:介護福祉施設 2:小規模介護福祉施設 3:小規模生活単位型 介護福祉施設※ 1 4:小規模生活単位型 小規模介護福祉施設 ※ 1
					平成 17 年 10 月以降	
					1:介護福祉施設 2:小規模介護福祉施設 3:ユニット型介護福祉施設※ 1 4:ユニット型小規模介護福祉施設※ 1	
				介護老人 保健施設	平成 17 年 9 月以前	平成 17 年 10 月以降
						1:介護老人保健施設 ※ 6 2:ユニット型介護老 人保健施設※ 6
					平成 18 年 4 月以降	平成 20 年 5 月以降
					1:介護保健施設※ 6 2:ユニット型介護保 健施設※ 6 3:小規模介護保健施 設 4:ユニット型小規模 介護保健施設	1:介護保健施設 (Ⅰ) 2:ユニット型介護保 健施設 (Ⅰ) 5:介護保健施設 (Ⅱ) 6:ユニット型介護保 健施設 (Ⅱ) 7:介護保健施設 (Ⅲ) 8:ユニット型介護保 健施設 (Ⅲ)
				介護療養 型医療施 設	平成 15 年 3 月以前	平成 15 年 4 月以降
					1:療養型 2:診療所型 3:認知症疾患型 4:介護力強化型※ 2	1:療養型 2:診療所型 3:認知症疾患型
					平成 17 年 10 月以降	平成 18 年 7 月以降
					1:病院療養型 2:診療所型 3:認知症疾患型 6:ユニット型病院療 養型※ 6 7:ユニット型診療所 型※ 6 8:ユニット型認知症 疾患型※ 6	1:病院療養型 2:診療所型 3:認知症疾患型 6:ユニット型病院療 養型※ 6 7:ユニット型診療所 型※ 6 8:ユニット型認知症 疾患型※ 6 A:病院経過型 B:認知症経過型

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
					平成 20 年 5 月以降
				介護療養型医療施設	1:病院療養型 2:診療所型 3:認知症疾患型 6:ユニット型病院療養型※6 7:ユニット型診療所型※6 8:ユニット型認知症疾患型※6 A:病院経過型 B:認知症経過型 C:ユニット型病院経過型
				以下は平成 18 年 4 月以降設定	
				介護予防訪問看護	1:訪問看護ステーション 2:病院または診療所
				介護予防訪問リハビリテーション	1:病院または診療所 2:介護老人保健施設
				介護予防短期入所生活介護	1:単独型 2:併設型・空床型 3:単独型ユニット型 4:併設型・空床型ユニット型
				介護予防短期入所療養介護(老健)	平成 18 年 4 月以降
					平成 20 年 5 月以降
				介護予防短期入所療養介護(診療所等)	1:介護老人保健施設 2:ユニット型介護老人保健施設 5:介護老人保健施設(Ⅱ) 6:ユニット型介護老人保健施設(Ⅱ) 7:介護老人保健施設(Ⅲ) 8:ユニット型介護老人保健施設(Ⅲ)
				介護予防短期入所療養介護(診療所等)	平成 18 年 4 月以降
					平成 18 年 7 月以降
				介護予防短期入所療養介護(診療所等)	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 6:ユニット型病院療養型 7:ユニット型診療所療養型 8:ユニット型認知症疾患型 A:病院経過型 B:認知症経過型
				平成 20 年 5 月以降	
				介護予防短期入所療養介護(診療所等)	1:病院療養型 2:診療所療養型 3:認知症疾患型 4:基準適合診療所型 6:ユニット型病院療養型 7:ユニット型診療所療養型 8:ユニット型認知症疾患型 A:病院経過型 B:認知症経過型 C:ユニット型病院経過型

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
				介護予防 特定施設 入居者生 活介護	1:有料老人ホーム 2:軽費老人ホーム 3:養護老人ホーム 4:高齢者専用賃貸住宅
				夜間対応 型訪問介 護	1:I型 2:II型
				認知症対 応型通所 介護	1:単独型 2:併設型 3:グループホーム等活用型
				地域密着 型特定施 設入居者 介護	平成18年4月以降
					平成20年5月以降
					1:有料老人ホーム 2:軽費老人ホーム 3:養護老人ホーム 4:高齢者専用賃貸住宅 5:サテライト型有料老人ホーム 6:サテライト型軽費老人ホーム 7:サテライト型養護老人ホーム 8:サテライト型高齢者専用賃貸住宅
				地域密着 型介護老 人福祉施 設	1:地域密着型介護福祉施設 2:サテライト介護福祉施設 3:ユニット型地域密着型介護福祉施設 4:ユニット型サテライト型地域密着型介護福祉施設
				介護予防 認知症対 応型通所 介護	1:単独型 2:併設型 3:グループホーム等活用型

項番	コード名称	属性	バイト数	内容				
4 2	人員配置区分コード	数字	1	サービス種類 および 施設等の区分	内容			
					平成 15 年 3 月 以前	平成 15 年 4 月 以降	平成 17 年 10 月 以降	平成 18 年 4 月以 降
				通所介護	1: 認知症型 2: 一般型			なし
				短期入所生活介護	1: I 型 2: II 型 3: III 型		なし	
				短期入所療養介護	1: I 型 2: II 型		なし	
				短期入所療養介護	平成 15 年 3 月以前		平成 15 年 4 月以降	
				病院療養型	1: I 型 2: II 型 3: III 型 4: IV 型		2: I 型 3: II 型 4: III 型	
				診療所療養型	1: I 型 2: II 型		1: I 型 2: II 型	
				認知症疾患型	1: I 型 2: II 型 3: III 型 4: IV 型		1: I 型 2: II 型 3: III 型	
				介護力強化型 ※ 2	1: I 型 2: II 型 3: III 型 4: IV 型			
					平成 18 年 4 月以降		平成 20 年 5 月以降	
				病院療養型	2: I 型 3: II 型		4: III 型	
				診療所療養型	1: I 型 2: II 型			
				認知症疾患型	5: I 型 6: II 型 9: V 型		7: III 型 8: IV 型	
				ユニット型 認知症疾患型	5: I 型 6: II 型			
				病院経過型			2: I 型 3: II 型	
				介護老人福祉施設	平成 17 年 9 月以前		平成 17 年 10 月以降	
				介護福祉施設 小規模介護福祉 施設	1: I 型 2: II 型 3: III 型		なし	
				介護老人保健施設	1: I 型 2: II 型		なし	
				介護療養型医療施設	平成 15 年 3 月以前		平成 15 年 4 月以降	
				病院療養型	1: I 型 2: II 型 3: III 型 4: IV 型		2: I 型 3: II 型 4: III 型	
				診療所型	1: I 型 2: II 型		1: I 型 2: II 型	
				認知症疾患型	1: I 型 2: II 型 3: III 型 4: IV 型		1: I 型 2: II 型 3: III 型	
				介護力強化型 ※ 2	1: I 型 2: II 型 3: III 型 4: IV 型			
					平成 18 年 4 月以降		平成 20 年 5 月以降	
				病院療養型	2: I 型 3: II 型		4: III 型	
				診療所型	1: I 型 2: II 型			
				認知症疾患型	5: I 型 6: II 型 9: V 型		7: III 型 8: IV 型	
				ユニット型 認知症疾患型	5: I 型 6: II 型			
				病院経過型			2: I 型 3: II 型	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容															
				以下は平成 18 年 4 月以降設定 特定施設入居者生活介護 有料老人ホーム 1:一般型 2:外部サービス利用型 軽費老人ホーム 1:一般型 2:外部サービス利用型 養護老人ホーム 2:外部サービス利用型 高齢者専用賃貸住宅 1:一般型 2:外部サービス利用型 介護予防短期入所療養介護 平成 18 年 4 月以降 平成 20 年 5 月以降 病院療養型 2:I型 3:II型 4:III型 診療所療養型 1:I型 2:II型 認知症疾患型 5:I型 6:II型 8:IV型 9:V型 7:III型 ユニット型認知症疾患型 5:I型 6:II型 病院経過型 2:I型 3:II型 介護予防特定施設入居者生活介護 有料老人ホーム 1:一般型 2:外部サービス利用型 軽費老人ホーム 1:一般型 2:外部サービス利用型 養護老人ホーム 2:外部サービス利用型 高齢者専用賃貸住宅 1:一般型 2:外部サービス利用型 地域密着型介護老人福祉施設 1:経過的施設以外 2:経過的施設															
43	地域区分	数字	1	1:特別区 2:特甲地 3:甲地 4:乙地 5:その他															
44	特別地域加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り															
45	緊急時訪問看護加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り															
46	特別管理体制	数字	1	1:対応不可 2:対応可															
47	機能訓練指導体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り															
48	食事提供体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り															
49	入浴介助体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り															
50	特別入浴介助体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※8															
51	送迎体制	数字	1	1:対応不可 2:対応可															
52	常勤専従医師配置の有無	数字	1	1:無し 2:有り															
53	療養環境基準	数字	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設等の区分</th> <th colspan="3">内容</th> </tr> <tr> <th>平成 19 年 3 月以前</th> <th>平成 19 年 4 月以降</th> <th>平成 20 年 4 月以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院療養型 ユニット型病院療養型 病院経過型</td> <td>1:基準 2:減算型 I 3:減算型 II 4:減算型 III</td> <td>1:基準型 2:減算型 I 3:減算型 II</td> <td>1:基準型 2:減算型</td> </tr> <tr> <td>診療所療養型 ユニット型診療所療養型</td> <td></td> <td>1:基準型 2:減算型</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施設等の区分	内容			平成 19 年 3 月以前	平成 19 年 4 月以降	平成 20 年 4 月以降	病院療養型 ユニット型病院療養型 病院経過型	1:基準 2:減算型 I 3:減算型 II 4:減算型 III	1:基準型 2:減算型 I 3:減算型 II	1:基準型 2:減算型	診療所療養型 ユニット型診療所療養型		1:基準型 2:減算型	
施設等の区分	内容																		
	平成 19 年 3 月以前	平成 19 年 4 月以降	平成 20 年 4 月以降																
病院療養型 ユニット型病院療養型 病院経過型	1:基準 2:減算型 I 3:減算型 II 4:減算型 III	1:基準型 2:減算型 I 3:減算型 II	1:基準型 2:減算型																
診療所療養型 ユニット型診療所療養型		1:基準型 2:減算型																	
54	医師の配置基準	数字	1	1:基準 2:医療法施行規則第 49 条適用															

項番	コード名称	属性	ハイ ト数	内容	
55	精神科医師定期的療養指導の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
56	夜間勤務条件基準	数字	1	平成15年3月以前	平成15年4月以降
				1:基準型 2:加算型Ⅰ 3:加算型Ⅱ 4:加算型Ⅲ ※2 5:加算型Ⅳ 6:減算型	1:基準型 2:加算型Ⅰ 3:加算型Ⅱ 5:加算型Ⅲ 6:減算型

このページは空白です。

項番	コード名称	属性	バイト数	内容		
57	認知症専門棟の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※8		
58	食事提供の状況	数字	1	1:別表第二注1該当 2:別表第二注2イ該当 3:別表第二注2ロ該当		
59	審査方法区分コード	数字	1	1:審査依頼 2:審査済み		
60	生活保護法による指定の有無	数字	1	1:指定無し 2:指定有り		
61	リハビリテーション提供体制(総合リハビリテーション施設)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※2		
62	リハビリテーション提供体制(理学療法Ⅱ)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※2		
63	リハビリテーション提供体制(理学療法Ⅲ)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※2		
64	リハビリテーション提供体制(作業療法Ⅱ)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※2		
65	リハビリテーション提供体制(精神科作業療法)の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
66	リハビリテーション提供体制(その他)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※8		
67	リハビリテーション加算状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※2		
68	医師の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
69	看護職員の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
70	理学療法士の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
71	作業療法士の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
72	介護職員の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
73	介護支援専門員の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
74	介護従業者の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
75	感染対策指導管理の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※2		
76	重症皮膚潰瘍指導管理の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
77	薬剤管理指導の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
78	障害者生活支援体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り		
79	保険・公費等区分コード	数字	1	1:保険請求 2:公費請求		
80	請求情報区分コード	数字	2	保険・公費等区分コード	法別番号	内容
				保険請求	“0”固定	01:居宅サービス・施設サービス・介護予防サービス・地域密着型サービス
				公費請求	12:生活保護	02:居宅介護支援・介護予防支援
				12以外	“0”固定	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容										
81	市町村特別給付用事業所番号	数字	10	<p>市町村特別給付を行う事業所の事業所番号</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>×1</td><td>×2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>×6</td><td>×7</td><td>×8</td><td>×9</td><td>×10</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"> ↑ ↑ ↑ ↑ </p> <p> ↑ 都道府県コード ↑ ゼロ固定 ↑ 通番 ↑ チェックデジット </p> <p>※都道府県コードは事業所がサービスを行える都道府県とする ※チェックデジットはモジュラス10方式とする</p>	×1	×2	0	0	0	×6	×7	×8	×9	×10
×1	×2	0	0	0	×6	×7	×8	×9	×10					
82	市町村特別給付用サービスコード	数字	6	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>8</td><td>1</td><td>×3</td><td>×4</td><td>×5</td><td>×6</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"> ↑ ↑ </p> <p> ↑ 固定 ↑ サービス項目コード </p> <p>* サービス項目コードはサービスの内容・行為を表す</p>	8	1	×3	×4	×5	×6				
8	1	×3	×4	×5	×6									
83	旧措置入所者特例のコード	数字	1	1:無し 2:有り										
84	中止理由コード	数字	1	1:非該当 2:介護施設※8 3:医療機関入院 4:死亡 5:その他 6:介護老人福祉施設入所 ※7 7:介護老人保健施設入所 ※7 8:介護療養型医療施設入院 ※7										
85	退所(院)後の状態コード	数字	1	1:居宅 2:介護施設※8 3:医療機関入院 4:死亡 5:その他 6:介護老人福祉施設入所 ※7 7:介護老人保健施設入所 ※7 8:介護療養型医療施設入院 ※7										
86	標準負担額減免の有無	数字	1	1.無し 2.有り										
87	申立者区分コード	英数	1	1:サービス事業所等申立 2:保険者申立 3:公費負担者申立										
88	給付管理票情報作成区分コード	数字	1	1:新規 2:修正 3:取消										
89	給付管理票種別区分コード	数字	1	1:訪問通所サービス給付管理票 2:短期入所サービス給付管理票 3:居宅サービス・介護予防サービス区分給付管理票										
90	款コード	数字	2	02:保険給付費										
91	項コード	数字	2	平成18年3月以前										
				平成18年4月以降										
				<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 01:介護サービス等諸費 02:支援サービス等諸費 04:高額介護サービス等費 05:市町村特別給付費 06:特定入所者介護サービス等費 </td> <td style="width: 50%;"> 01:介護サービス等諸費 02:介護予防サービス等諸費 04:高額介護サービス等費 05:市町村特別給付費 06:特定入所者介護サービス等費 </td> </tr> </table>	01:介護サービス等諸費 02:支援サービス等諸費 04:高額介護サービス等費 05:市町村特別給付費 06:特定入所者介護サービス等費	01:介護サービス等諸費 02:介護予防サービス等諸費 04:高額介護サービス等費 05:市町村特別給付費 06:特定入所者介護サービス等費								
01:介護サービス等諸費 02:支援サービス等諸費 04:高額介護サービス等費 05:市町村特別給付費 06:特定入所者介護サービス等費	01:介護サービス等諸費 02:介護予防サービス等諸費 04:高額介護サービス等費 05:市町村特別給付費 06:特定入所者介護サービス等費													

項番	コード名称	属性	単位数	内容	
92	目コード	数字	2	平成18年3月以前	
				項コード	内容
				介護サービス等諸費	01:居宅介護サービス給付費 02:特例居宅介護サービス給付費 03:施設介護サービス給付費 04:特例施設介護サービス給付費 05:居宅介護福祉用具購入費 06:居宅介護住宅改修費 07:居宅介護サービス計画給付費 08:特例居宅介護サービス計画給付費
				支援サービス等諸費	01:居宅支援サービス給付費 02:特例居宅支援サービス給付費 03:居宅支援福祉用具購入費 04:居宅支援住宅改修費 05:居宅支援サービス計画給付費 06:特例居宅支援サービス計画給付費
				高額介護サービス等費	01:高額介護サービス費 02:高額居宅支援サービス費
				市町村特別給付費	01:市町村特別給付費
				特定入所者介護サービス等費	01:特定入所者介護サービス費 02:特例特定入所者介護サービス費 03:特定入所者支援サービス費 04:特例特定入所者支援サービス費
				平成18年4月以降	
				介護サービス等諸費	01:居宅介護サービス給付費 02:特例居宅介護サービス給付費 03:地域密着型介護サービス給付費 04:特例地域密着型介護サービス給付費 05:施設介護サービス給付費 06:特例施設介護サービス給付費 07:居宅介護福祉用具購入費 08:居宅介護住宅改修費 09:居宅介護サービス計画給付費 10:特例居宅介護サービス計画給付費
				介護予防サービス等諸費	01:介護予防サービス給付費 02:特例介護予防サービス給付費 03:地域密着型介護予防サービス給付費 04:特例地域密着型介護予防サービス給付費 05:介護予防福祉用具購入費 06:介護予防住宅改修費 07:介護予防サービス計画給付費 08:特例介護予防サービス計画給付費

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
				高額介護サービス等費	01:高額介護サービス費 02:高額介護予防サービス費
				市町村特別給付費	01:市町村特別給付費
				特定入所者介護サービス等費	01:特定入所者介護サービス費 02:特例特定入所者介護サービス費 03:特定入所者介護予防サービス費 04:特例特定入所者介護予防サービス費
93	節コード	数字	2	01:負担金、補助及び交付金	
94	支給区分コード	数字	1	1:支給 2:不支給	
95	支払方法区分コード	数字	1	1:窓口払 2:口座払	
96	給付実績区分コード	数字	1	1:現物 2:償還	
97	給付実績情報作成区分コード	数字	1	1:新規 2:修正 3:取消	
98	公費負担上限額減額の有無	数字	1	1.無し 2.有り ※生活保護受給者は2	
99	法別番号	数字	2	公費負担医療に係る法律を表した番号	
100	有料老人ホーム等同意書の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
101	再審査申立事由コード	英数	4	申立対象項目番号	01:給付管理票修正(※4) 10:サービス種類コードおよびサービス項目コードで示すサービス 11:緊急時施設療養費 緊急時療養管理 12:緊急時施設療養費 リハビリテーション 13:緊急時施設療養費 処置 14:緊急時施設療養費 手術 15:緊急時施設療養費 麻酔 16:緊急時施設療養費 放射線治療 平成15年3月以前 平成15年4月以降 21:特定診療費 指導管理等 22:特定診療費 単純エックス線 23:特定診療費 リハビリテーション 24:特定診療費 精神科専門療法 20:特定診療費・特別療養費
				申立理由番号	01:固定単位数に誤りがある場合 02:計算に誤りがある場合 03:給付内容に疑義がある場合 04:審査内容に疑義がある場合 05:重複して請求されている場合 06:適正化による場合 51:給付管理票の修正(※4) 99:その他の再審査請求

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
				
102	過誤申立事由コード	英数	4	<p>様式番号</p> <p>10: 居宅サービス介護給付費明細書 (訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハ・居宅療養管理指導・通所介護・通所リハ・福祉用具貸与・夜間対応型訪問介護・認知症対応型通所介護・小規模多機能型居宅介護)</p> <p>11: 介護予防サービス介護給付費明細書 (介護予防訪問介護・介護予防訪問入浴介護・介護予防訪問看護・介護予防訪問リハ・介護予防居宅療養管理指導・介護予防通所介護・介護予防通所リハ・介護予防福祉用具貸与・介護予防認知症対応型通所介護・介護予防小規模多機能型居宅介護) ※7</p> <p>21: 居宅サービス介護給付費明細書 (短期入所生活介護)</p> <p>24: 介護予防サービス介護給付費明細書 (介護予防短期入所生活介護) ※7</p> <p>22: 居宅サービス介護給付費明細書 (介護老人保健施設における短期入所療養介護)</p> <p>25: 介護予防サービス介護給付費明細書 (介護老人保健施設における短期入所療養介護) ※7</p> <p>23: 居宅サービス介護給付費明細書 (病院又は診療所における短期入所療養介護)</p> <p>26: 介護予防サービス介護給付費明細書 (病院又は診療所における短期入所療養介護) ※7</p> <p>30: 居宅サービス介護給付費明細書 (認知症対応型共同生活介護・特定施設入居者生活介護)</p> <p>31: 介護予防サービス介護給付費明細書 (介護予防認知症対応型共同生活介護) ※7</p> <p>32: 居宅サービス介護給付費明細書 (特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者介護) ※7</p> <p>33: 介護予防サービス介護給付費明細書 (介護予防特定施設入居者生活介護) ※7</p> <p>34: 居宅サービス介護給付費明細書 (認知症対応型共同生活介護 (短期利用型)) ※7</p> <p>35: 介護予防サービス介護給付費明細書 (介護予防認知症対応型共同生活介護 (短期利用型)) ※7</p> <p>40: 居宅介護支援介護給付費明細書</p> <p>41: 介護予防支援介護給付費明細書 (介護予防支援) ※7</p> <p>50: 施設サービス等介護給付費明細書 (介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設)</p> <p>60: 施設サービス等介護給付費明細書 (介護老人保健施設)</p> <p>70: 施設サービス等介護給付費明細書 (介護療養型医療施設)</p>

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
				01:台帳誤り修正による保険者申立の過誤調整 02:請求誤りによる実績取り下げ 09:時効による保険者申立の取下げ 11:台帳誤り修正による事業所申立の過誤調整 12:請求誤りによる実績取り下げ(同月) 21:台帳誤り修正による公費負担者申立の過誤調整 29:時効による公費負担者申立の取下げ 32:給付管理票取消による実績の取下げ(※5) 42:適正化による保険者申立の過誤取下げ 49:適正化による保険者申立の過誤取下げ(同月) 52:適正化による公費負担者申立の過誤取下げ 59:適正化による公費負担者申立の過誤取下げ(同月) 90:その他の事由による台帳過誤 99:その他の事由による実績の取り下げ
103	時間延長サービス体制	数字	1	1:対応不可 2:対応可 ※1
104	個別リハビリテーション提供体制	数字	1	1:対応不可 2:対応可 ※1 ※8
105	居住費対策	数字	1	1:対応不可 2:対応可 ※1
106	夜間ケアの有無	数字	1	1:無し 2:有り ※1 ※8
107	識別番号	数字	2	介護給付費等の記載要領で示される特定診療費の識別番号のうち、@を除く2桁の数字
108	個別リハビリテーション提供体制(総合リハビリテーション施設)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※3 ※8
109	個別リハビリテーション提供体制(理学療法Ⅱ)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※3 ※8
110	個別リハビリテーション提供体制(理学療法Ⅲ)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※3 ※8
111	個別リハビリテーション提供体制(作業療法Ⅱ)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※3 ※8
112	個別リハビリ提供体制(言語聴覚療法Ⅰ)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※8
113	個別リハビリ提供体制(言語聴覚療法Ⅱ)の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※8
114	リハビリテーション機能強化の有無	数字	1	1:無し 2:有り ※3
115	言語聴覚士の欠員による減算の状況の有無	数字	1	1:無し 2:有り
116	特定入所者認定申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み
117	特定入所者介護サービス区分コード	数字	1	1:通常を受給者 2:旧措置入所者
118	課税層の特例減額措置対象	数字	1	1:該当無し 2:該当有り
119	利用者負担第2段階	数字	1	1:該当無し 2:該当有り
120	支給申請書出力の有無	数字	1	1:出力無し 2:出力有り
121	栄養管理の評価	数字	1	1:無し 2:栄養士 3:管理栄養士 4:栄養ケア・マネジメント体制
122	社会福祉法人軽減事業実施の有無	数字	1	1:無し 2:有り
123	特定事業所加算(訪問介護)の有無	数字	1	1:無し 2:加算Ⅰ 3:加算Ⅱ 4:加算Ⅲ

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
124	若年性認知症ケア体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り
125	運動器機能向上体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り
126	栄養マネジメント（改善）体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り
127	口腔機能向上体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り
128	事業所評価加算（申出）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
129	事業所評価加算（決定）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
130	緊急受入体制の有無	数字	1	1:対応不可 2:対応可
131	夜間看護体制の有無	数字	1	1:対応不可 2:対応可
132	特定事業所加算（居宅介護支援）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
133	大規模事業所該当の有無	数字	1	1:非該当 2:該当
134	準ユニットケア体制の有無	数字	1	1:対応不可 2:対応可
135	重度化対応体制の有無	数字	1	1:対応不可 2:対応可
136	医療連携体制の有無	数字	1	1:対応不可 2:対応可
137	ユニットケア体制の有無	数字	1	1:対応不可 2:対応可
138	在宅・入所相互利用体制の有無	数字	1	1:対応不可 2:対応可
139	ターミナルケア体制（看取り介護体制）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
140	身体拘束廃止取組の有無	数字	1	1:無し 2:有り
141	小規模拠点集合体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り
142	認知症ケア加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り
143	個別機能訓練体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り
144	個別リハビリテーション提供体制（理学療法Ⅰ）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
145	個別リハビリテーション提供体制（理学療法Ⅱ）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
146	個別リハビリテーション提供体制（作業療法）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
147	個別リハビリテーション提供体制（言語聴覚療法）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
148	個別リハビリテーション提供体制（その他）の有無	数字	1	1:無し 2:有り
149	指定/基準該当/地域密着型サービス識別コード	数字	1	1:指定サービス 2:基準該当サービス 3:相当サービス 4:その他 5:地域密着型サービス
150	小規模多機能型居宅介護の利用開始月における居宅サービス等の利用の有無	数字	1	1:利用無し 2:利用有り
151	設備基準	数字	1	1:基準型 2:減算型
152	療養体制維持特別加算	数字	1	1:無し 2:有り

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
153	個別リハビリテーション提供体制 (リハビリテーション指導管理)の 有無	数字	1	1:無し 2:有り

※1:平成15年3月以前の情報に設定されていた場合エラーとする。

※2:平成15年4月以降の情報に設定されていた場合エラーとする。

※3:平成15年3月以前の情報では設定不要とする。設定された場合、属性及び桁数等のシステムチェックは行わず、省略されたものとみなす。

※4:再審査決定通知書にのみ表示(設定)される。

※5:過誤決定通知書にのみ表示(設定)される。

※6:平成17年9月以前の情報に設定されていた場合エラーとする。

※7:平成18年3月以前の情報に設定されていた場合エラーとする。

※8:平成18年4月以降の情報に設定されていた場合エラーとする。

このページは空白です。

1. 5 留意事項

1. 5. 1 項目設定共通事項

(1) 「年月日」欄

- ・年月日を西暦年4桁、月2桁、日2桁の半角数字で表す。
- ・月、日が1桁の場合は、それぞれ直前に“0”を付加して2桁にする。

(例)

2000年 4月 1日 の場合は、“20000401”を設定する。

(2) 「年月」欄

- ・年月を西暦年4桁、月2桁の半角数字で表す。
- ・月が1桁の場合は、直前に“0”を付加して2桁にする。

(例)

2000年 4月 の場合は、“200004”を設定する。

(3) 「単位数単価」欄

- ・単位数の単価を整数部2桁、小数部2桁の半角数字で表す。

(例)

5. 6円 の場合は、“0560”を設定する。

(4) 「訪問介護員数（常勤換算後の人数）」欄

- ・訪問介護員数（常勤換算後の人数）を整数部3桁、小数部1桁の半角数字で表す。

(例)

10. 5人 の場合は、“0105”もしくは“105”を設定する。

(5) 「軽減率」欄

- ・利用者負担分に対する軽減率を整数部3桁、小数部1桁で表す。

(例)

25%軽減の場合は“0250”もしくは、“250”を設定する。

1. 6 データ種別一覧

交換情報ファイルに格納するコントロールレコードのデータ種別は、続いて格納するデータレコードの交換情報識別番号の上3桁を設定する。また、同一ファイル上に複数の交換情報識別番号のデータレコードがある場合には、最初に格納するデータレコードの交換情報識別番号の上3桁を設定する。

ただし、一部の交換情報については受け渡しする情報の構成内容によりレコードの編綴方法に複数の形態があり得るため、例外として、最初に格納するデータレコードの交換情報識別番号とは直接対応しないデータ種別の設定が必要な場合がある。

以下に、コントロールレコードのデータ種別とデータレコードの交換情報識別番号との対応を整理した一覧を示す。

項番	データ種別（コントロールレコード）	格納するデータレコード	
		識別	情報名
1	111：保険者向け給付実績情報	1111 1112 1113 1114 1115	国保連合会保有給付実績情報
2	112：保険者向け給付管理票情報	1121 1122	保険者向け給付管理票情報
3	113：保険者保有給付実績情報	1131 1132 1133 1134 1135	保険者保有給付実績情報
4	114：保険者保有給付実績更新結果情報	1141 1142 1143 1144 1145	保険者保有給付実績更新結果情報
5	121：介護給付費資格照合表情報	1211	介護給付費資格照合表情報
6	151：介護給付費等請求額通知書情報	1511	介護給付費等請求額通知書情報
7	161：介護給付費等審査決定請求明細表情報	1611	介護給付費等審査決定請求明細表情報
8	171：介護給付費過誤決定通知書情報（保険者分）	1711	介護給付費過誤決定通知書情報（保険者分）
9	172：介護給付費再審査決定通知書情報（保険者分）	1721	介護給付費再審査決定通知書情報（保険者分）
10	173：介護給付費過誤申立書情報	1731	介護給付費過誤申立書情報
11	174：介護給付費再審査申立書情報（保険者分）	1741 1742	介護給付費再審査申立書情報（保険者分）
12	211：償還連絡票情報	2111	償還連絡票情報
		2131	居宅介護（支援）給付費償還明細書情報
		2141	居宅介護（支援）給付費償還明細書情報
		2142	
		2143	

項番	データ種別（コントロールレコード）	格納するデータレコード	
		識別	情報名
		2151 2152 2153 2155	居宅介護（支援）給付費償還明細書情報
		2161 2162 2163 2164	居宅介護（支援）給付費償還明細書情報
		2171 2173 2175	居宅介護（支援）給付費償還明細書情報
		2181 2182 2183	施設介護給付費償還明細書情報
		2191 2192 2193 2194	施設介護給付費償還明細書情報
		21A1 21A2 21A3	施設介護給付費償還明細書情報
		21B1 21B2	居宅介護（支援）サービス計画費償還明細書情報
		21C1	福祉用具販売費償還明細書情報
		21D1	住宅改修費償還明細書情報
		2132	介護予防サービス給付費償還明細書情報
		2144	介護予防サービス給付費償還明細書情報
		2154 2156	介護予防サービス給付費償還明細書情報
		2165	介護予防サービス給付費償還明細書情報
		2172 2174 2176	介護予防サービス給付費償還明細書情報
		21B3	介護予防支援給付費償還明細書情報
		21C2	介護予防福祉用具販売費償還明細書情報
		21D2	介護予防住宅改修費償還明細書情報
1 3	221：償還払支給決定者一覧表情報	2211	償還払支給決定者一覧表情報
1 4	222：償還払不支給決定者一覧表情報	2221	償還払不支給決定者一覧表情報
1 5	223：償還払支給（不支給）決定通知書情報	2232	償還払支給（不支給）決定通知書情報
1 6	231：振込依頼書（償還）情報	2311	振込依頼書（償還）情報
1 7	311：要介護認定期限到来者一覧表情報	3111	要介護認定期限到来者一覧表情報
1 8	312：要介護認定・要支援認定有効期間終了のお知らせ情報	3121	要介護認定・要支援認定有効期間終了のお知らせ情報
1 9	313：要介護（更新）認定・要支援（更新）認定申請書情報	3131	要介護（更新）認定・要支援（更新）認定申請書情報

項番	データ種別（コントロールレコード）	格納するデータレコード	
		識別	情報名
20	321：介護給付費通知一覧表情報	3211	介護給付費通知一覧表情報
21	322：介護給付費通知書	3222	介護給付費通知書
22	331：高額介護サービス費給付対象者一覧表情報	3311	高額介護サービス費給付対象者一覧表情報
23	332：高額介護サービス費給付のお知らせ情報	3322	高額介護サービス費給付のお知らせ情報
24	333：高額介護（居宅支援）サービス費支給申請書情報	3331	高額介護（居宅支援）サービス費支給申請書情報
25	341：高額介護サービス費給付判定結果情報	3411	高額介護サービス費給付判定結果情報
26	351：高額介護サービス費支給（不支給）決定者一覧表情報	3511	高額介護サービス費支給（不支給）決定者一覧表情報
27	352：高額介護サービス費支給（不支給）決定通知書情報	3522	高額介護サービス費支給（不支給）決定通知書情報
28	361：振込依頼書（高額）情報	3611	振込依頼書（高額）情報
29	391：振込データ情報	3911	振込データ情報
30	393：振込者一覧表情報	3931	振込者一覧表情報
31	394：振込不能者一覧表情報	3941	振込不能者一覧表情報
32	3A1：主治医意見書料支払一覧表情報	3A11	主治医意見書料支払一覧表情報
33	3A2：主治医意見書料支払一覧表情報	3A21	主治医意見書料支払一覧表情報
34	3B1：認定調査委託料支払一覧表情報	3B11	認定調査委託料支払一覧表情報
35	411：被保険者証作成情報	4111	被保険者証作成情報（共通部）
		4122	被保険者証作成情報（明細部）
36	421：被保険者証作成一覧表情報	4211	被保険者証作成一覧表情報
37	431：被保険者証作成情報エラーリスト情報	4311	被保険者証作成情報エラーリスト情報
38	432：第1号被保険者保険料徴収情報エラーリスト情報	4321	第1号被保険者保険料徴収情報エラーリスト情報
39	441：第1号被保険者保険料徴収情報	4411	第1号被保険者保険料徴収情報（共通部）
		4421	第1号被保険者保険料徴収情報（明細部）
40	451：保険料納付通知書等作成一覧表（普通徴収者）情報	4511	保険料納付通知書等作成一覧表（普通徴収者）情報
41	452：保険料納付通知書等作成一覧表（特別徴収者）情報	4521	保険料納付通知書等作成一覧表（特別徴収者）情報
42	521：事業所異動連絡票情報	5112	事業所異動連絡票情報（基本情報）
		5213	事業所異動連絡票情報（サービス情報）
		5215	事業所異動連絡票情報（介護支援専門員情報）
43	523：事業所情報更新結果情報	5132	事業所情報更新結果情報（基本情報）
		5233	事業所情報更新結果情報（サービス情報）
		5235	事業所情報更新結果情報（介護支援専門員情報）

項番	データ種別（コントロールレコード）	格納するデータレコード	
		識別	情報名
4 4	524：事業所台帳情報	5142	事業所台帳情報（基本情報）
		5243	事業所台帳情報（サービス情報）
		5245	事業所台帳情報（介護支援専門員情報）
4 5	531：受給者異動連絡票情報	5311	受給者異動連絡票情報
4 6	533：受給者情報更新結果情報	5331	受給者情報更新結果情報
4 7	534：受給者台帳情報	5341	受給者台帳情報（単票）
		5342	受給者台帳情報（一覧表）
4 8	536：受給者情報突合情報	5361	受給者情報突合情報
4 9	537：受給者情報突合結果情報	5371	受給者情報突合結果情報
5 0	541：保険者異動連絡票情報	5411	保険者異動連絡票情報
		5611	広域連合異動連絡票情報 （行政区異動連絡票情報）
5 1	543：保険者情報更新結果情報	5431	保険者情報更新結果情報
		5631	広域連合情報更新結果情報 （行政区情報更新結果情報）
5 2	544：保険者台帳情報	5441	保険者台帳情報
		5641	広域連合情報（行政区情報）
5 3	551：市町村固有異動連絡票情報	5511	市町村固有異動連絡票情報
5 4	553：市町村固有情報更新結果情報	5531	市町村固有情報更新結果情報
5 5	554：市町村固有情報	5541	市町村固有情報
5 6	5A1：共同処理用保険者異動連絡票情報	5A11	共同処理用保険者異動連絡票情報（基本情報）
		5B11	共同処理用保険者異動連絡票情報（償還払給付額管理処理情報）
5 7	5A3：共同処理用保険者情報更新結果情報	5A31	共同処理用保険者情報更新結果情報（基本情報）
		5B31	共同処理用保険者情報更新結果情報（償還払給付額管理処理情報）
5 8	5A4：共同処理用保険者情報	5A41	共同処理用保険者情報（基本情報）
		5B41	共同処理用保険者情報（償還払給付額管理処理情報）
5 9	5C1：共同処理用受給者異動連絡票情報	5C11	共同処理用受給者異動連絡票情報（基本情報）
		5D11	共同処理用受給者異動連絡票情報（償還払給付額管理処理情報）
		5E11	共同処理用受給者異動連絡票情報（高額介護サービス費支給処理情報）
6 0	5C3：共同処理用受給者情報更新結果情報	5C31	共同処理用受給者情報更新結果情報（基本情報）
		5D31	共同処理用受給者情報更新結果情報（償還払給付額管理処理情報）
		5E31	共同処理用受給者情報更新結果情報（高額介護サービス費支給処理情報）

加除第7号

項番	データ種別（コントロールレコード）	格納するデータレコード	
		識別	情報名
6 1	5C4：共同処理用受給者情報	5C41	共同処理用受給者情報（基本情報）
		5D41	共同処理用受給者情報（償還払給付額管理処理情報）
		5E41	共同処理用受給者情報（高額介護サービス費支給処理情報）
6 2	5F1：地域密着型サービスコード異動連絡票情報	5F11	地域密着型サービスコード異動連絡票情報
6 3	5F3：地域密着型サービスコード更新結果情報	5F31	地域密着型サービスコード更新結果情報
6 4	5F4：地域密着型サービスコード情報	5F41	地域密着型サービスコード情報
6 5	631：介護給付費等請求額通知書情報（公費負担者分）	6311	介護給付費等請求額通知書情報（公費負担者分）
6 6	641：介護給付費公費受給者別一覧表情報	6411	介護給付費公費受給者別一覧表情報
6 7	651：介護給付費過誤決定通知書情報（公費負担者分）	6511	介護給付費過誤決定通知書情報（公費負担者分）
6 8	652：介護給付費再審査決定通知書情報（公費負担者分）	6521	介護給付費再審査決定通知書情報（公費負担者分）
6 9	711：介護給付費請求書情報	7111	介護給付費請求書情報
		7131	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報
		7141 7142 7143	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報
		7151 7152 7153 7155	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報
		7161 7162 7163 7164	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報
		7171 7173 7175	居宅介護（支援）給付費請求明細書情報
		7181 7182 7183	施設介護給付費請求明細書情報
		7191 7192 7193 7194	施設介護給付費請求明細書情報
		71A1 71A2 71A3	施設介護給付費請求明細書情報
		7132	介護予防サービス給付費請求明細書情報
		7144	介護予防サービス給付費請求明細書情報
		7154 7156	介護予防サービス給付費請求明細書情報
		7165	介護予防サービス給付費請求明細書情報

項番	データ種別（コントロールレコード）	格納するデータレコード	
		識別	情報名
		7172 7174 7176	介護予防サービス給付費請求明細書情報
		8121 8122	介護給付費請求明細書（居宅サービス計画費）情報
		8123	介護予防支援介護給付費明細書
70	71B：介護給付費再審査申立書	71B1 71B2	介護給付費再審査申立書情報
71	721：介護保険審査決定増減表	7211	介護保険審査決定増減表情報
72	731：介護保険審査増減点通知書	7311	介護保険審査増減単位数通知書情報
73	741：請求明細・給付管理票返戻（保留）一覧表情報	7411	請求明細・給付管理票返戻（保留）一覧表情報
74	751：介護給付費等支払決定額通知書	7511	介護給付費等支払決定額通知書情報
75	752：介護給付費等支払決定額内訳書	7521	介護給付費支払決定額内訳書情報
76	761：介護給付費過誤決定通知書（事業所）	7611	介護給付費過誤決定通知書情報（事業所）
77	762：介護給付費再審査決定通知書（事業所）	7621	介護給付費再審査決定通知書情報（事業所）
78	821：給付管理票情報	8211	給付管理票総括票情報
		8221 8222	給付管理票情報
79	831：サービス提供終了確認情報	8311	サービス提供終了確認情報
80	832：サービス提供終了確認情報登録対象者一覧表情報	8321	サービス提供終了確認情報登録対象者一覧表情報
81	833：サービス提供終了確認者台帳情報	8331	サービス提供終了確認者台帳情報